18歳人口予測
大学・短期大学・専門学校進学率
地元残留率の動向

【将来予測　2019～2031年（男女別は、2019年~2030年）】

▶18歳人口予測　P3～P8

・2019年117.5万人→2031年103.3万人(14.2万人減少)
・特に2023～2024年の1年で3.5万人と大きく減少する
・減少率が高いのは東北(2019年比77.3%) 、減少数が大きいのは近畿(28,979人減)

【経過推移　2009年～2018年　(地元残留率は2010～2019年) 】

▶進学率(現役・過年度含)の推移　P9～P15

大学進学率(現役)
・2009年47.3%→2018年49.7%(2.4ポイント上昇
・上昇率が高いのは、1位北海道(114.2) 、2位東北(109.7) 、3位九州沖縄(106.5) ※
・進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率(現役)
・2009年6.2%→2018年4.6%(1.6ポイント低下)
・低下率が高いのは、1位南関東(64.7) 、2位中国(65.7) 、3位近畿(68.9)※
・進学率が高いのは、北陸、甲信越、四国

専門学校進学率(現役)
・2009年14.7%→2018年15.9%(1.2ポイント上昇)
・上昇率が高いのは、1位東海(113.6)、2位近畿(113.4)、3位南関東(113.3)※
・進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率(現役・2018年)
・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・ 2009～2018年）
・現役と過年度含の進学率の差は、大学は3.6ポイント(過年度含が高い)
　短期大学はほとんど差なし

注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数

▶地元残留率の推移　P16～P24

・大学入学者の地元残留率は、2010年43.4%→2019年44.4%(1.0ポイント上昇)
・短期大学入学者の地元残留率は、2010年66.6%→2019年69.9%(3.3ポイント上昇)
・大学入学者の地元残留率1位は愛知(70.7%)
　短期大学入学者の地元残留率1位は福岡(93.2%)

▶18歳人口減少率×地元残留率　P25・26

・大学入学者：都道府県別：2019→2031年
・短期大学入学者：都道府県別：2019→2031年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ　リクルート進学総研
http://souken.shingakunet.com/

分析・データついて

■分析・データについて

① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下のとおり定義して算出した。
- 18歳人口＝3年前の中学校卒業者および中等教育学校前期課程修了者数
- 中学校卒業者数＝高校生＋フリーター＋就職者　すべて含む

② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
④ 進学率とは、進学者数(大学・短大・専修学校専門課程(専門学校）)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)で算出した。
⑤ 残留率とは、自県内(地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間(年）が一致しない場合がある。
⑧ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下のとおり。

北海道　：北海道
東北　　：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東　：茨城、栃木、群馬
南関東　：埼玉、千葉、東京、神奈川
甲信越　：新潟、山梨、長野
北陸　　：富山、石川、福井
東海　　：岐阜、静岡、愛知、三重
近畿　　：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国　　：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国　　：徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業者
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2019	1,174,801	H28年(2016年)　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者
確報	進学総研集計（予測）	2020	1,167,348	H29年(2017年)　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
確報	進学総研集計（予測）	2021	1,141,140	H30年(2018年)　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
速報	進学総研集計（予測）	2022	1,121,276	（令和元年）2019年　の中学校3年生+中等教育学校前期課程修了者（全国計のみ）+義務教育学校卒業者数（全国計のみ）
速報	進学総研集計（予測）	2023	1,097,105	（令和元年）2019年　の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生＋義務教育学校9年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2024	1,061,961	（令和元年）2019年　の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生＋義務教育学校8年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2025	1,089,005	（令和元年）2019年　の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生＋義務教育学校7年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2026	1,093,565	（令和元年）2019年　の小学校6年生＋義務教育学校6年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2027	1,085,011	（令和元年）2019年　の小学校5年生＋義務教育学校5年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2028	1,068,978	（令和元年）2019年　の小学校4年生＋義務教育学校4年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2029	1,066,720	（令和元年）2019年　の小学校3年生＋義務教育学校3年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2030	1,048,177	（令和元年）2019年　の小学校2年生＋義務教育学校2年生の生徒数
速報	進学総研集計（予測）	2031	1,033,386	（令和元年）2019年　の小学校1年生＋義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測（全体：全国：2019～2031年)

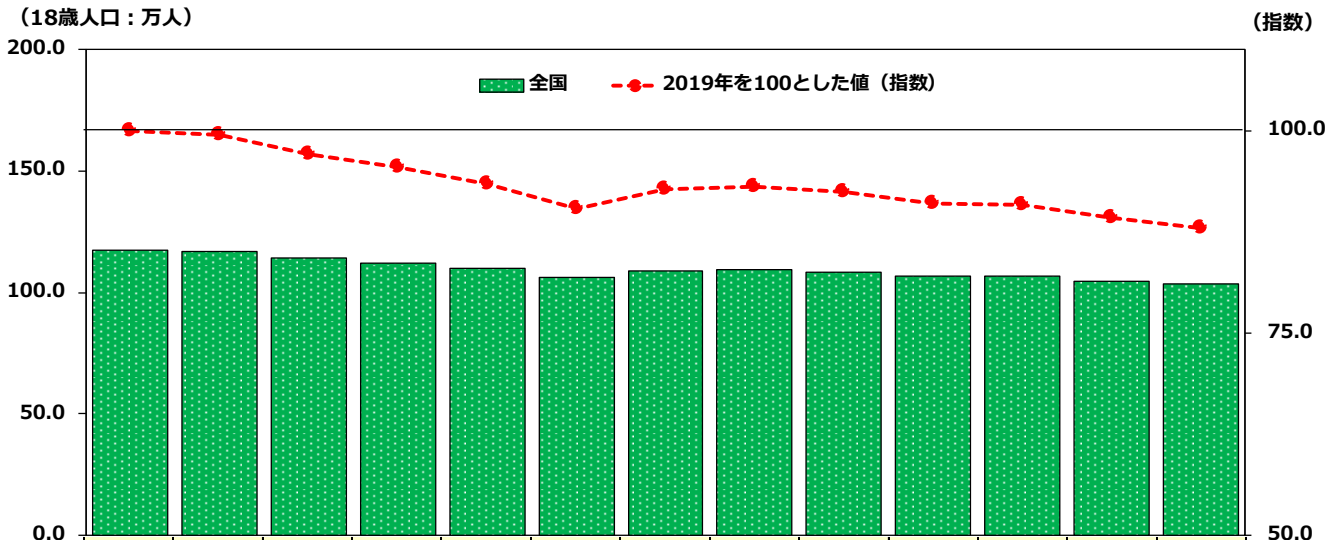
■2019年117.5万人→2031年103.3万人(14.2万人減少)

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

① 2019～2024年：6年間かけて減少(117.5万人から106.2万人、11.3万人減少）。
特に2023～2024年の1年で3.5万人と大きく減少する。

② 2025～2027年：2025年に108.9万人（前年比2.7万人増）と増加に転じ、
2027年は108.5万人とほぼ変わらず。

③ 2028～2031年：2028年に106.9万人（前年比1.6万人減）と再び減少し、
2031年には103.3万人となる。



		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
全体	人数 （万人）	117.5	116.7	114.1	112.1	109.7	106.2	108.9	109.4	108.5	106.9	106.7	104.8	103.3
	指数	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.2	88.0

① ② ③

※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

18歳人口予測（男女別：全国：2019～2030年）

■男女ともに12年間で約10%の減少

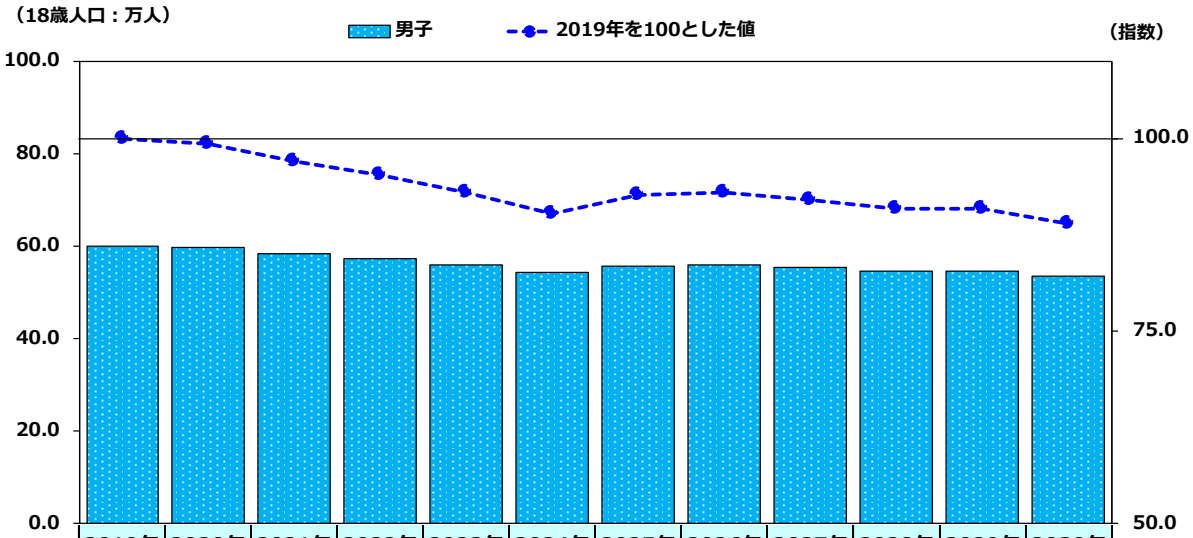
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

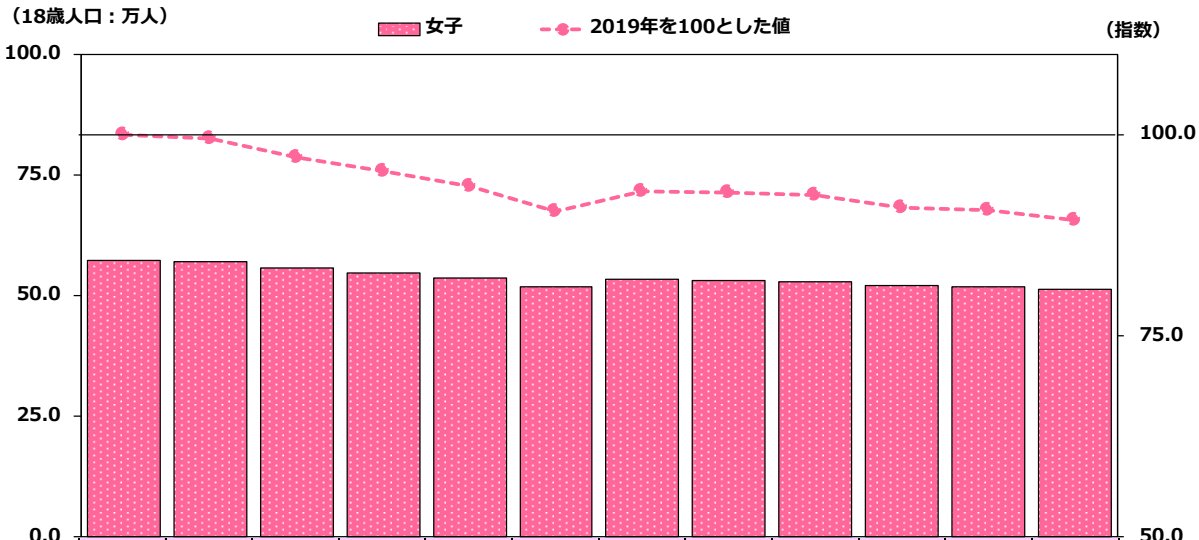
・2019年60.2万人から2030年53.5万人、12年間で6.7万人減少。
・2026年で減少は落ち着くが、2027年から再び減少傾向となり2030年までに2.5万人減少している。

女子

・2019年57.3万人から2030年51.3万人と、12年間で6.0万人減少。
・男子と同様に2026年で減少が落ち着くが、2027年から2030年にかけて2.0万人減少している。



		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
男子	人数 （万人）	60.2	59.7	58.4	57.3	56.0	54.3	55.8	56.0	55.4	54.7	54.7	53.5
	指数	100.0	99.3	97.0	95.3	93.1	90.3	92.7	93.1	92.1	90.9	90.9	89.0



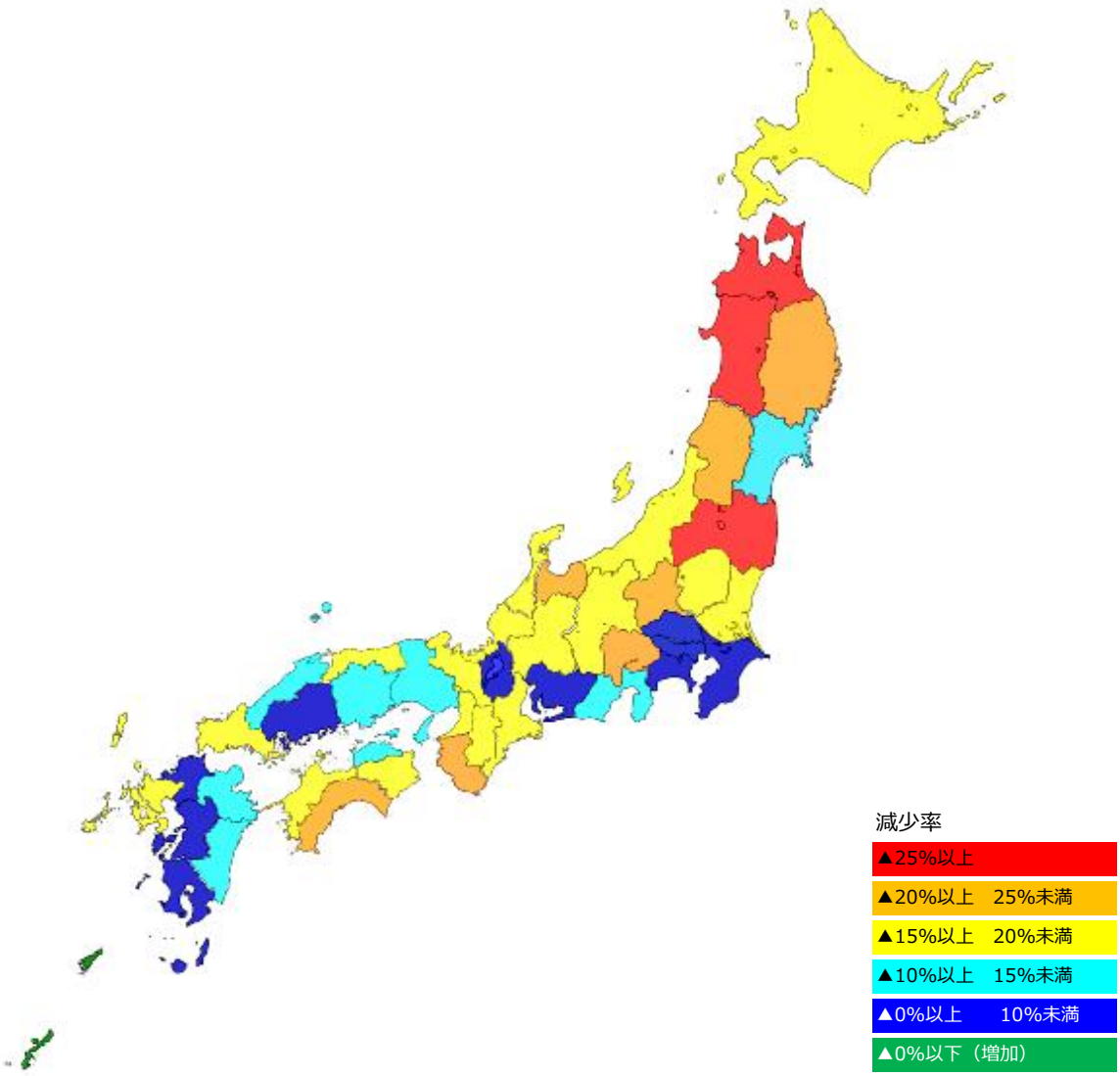
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
女子	人数 （万人）	57.3	57.0	55.7	54.8	53.7	51.9	53.3	53.3	53.0	52.2	52.0	51.3
	指数	100.0	99.5	97.2	95.5	93.6	90.5	93.0	92.9	92.5	91.0	90.7	89.4

※データ元：「平成30年度（2018年度）学校基本調査　確報値」より

18歳人口の予測（全体：都道府県別:2019→2031年)

■東北の減少率が高く、6県中5県で減少率20%以上

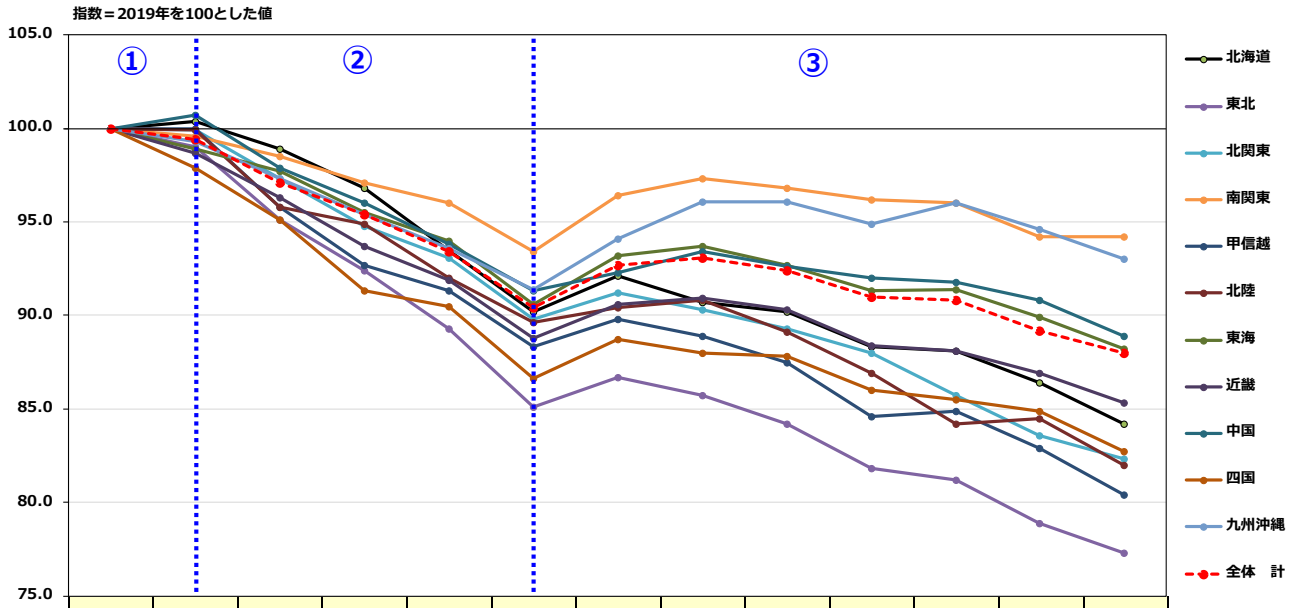
・減少率25%以上　：青森(28.8%)、秋田(26.6%)、福島(27.5%)
・減少率20%以上25%未満　：岩手(23.6%)、山形(23.0%)、群馬(20.2%)、山梨(22.4%)
富山(22.3%)、和歌山(22.3%)、高知(20.4%)
・減少率15%以上20%未満　：北海道(15.8%)、茨城(16.9%)、栃木(16.2%)、新潟(19.1%)
長野(18.9%)、石川(15.8%)、福井(15.7%)、岐阜(16.9%)
三重(16.9%)、京都(16.5%)、大阪(15.3%)、奈良(17.8%)
鳥取(15.6%)、山口(15.7%)、徳島(18.5%)、愛媛(16.9%)
佐賀(16.7%)、長崎(15.5%)
・減少率10%以上15%未満　：宮城(12.7%)、静岡(13.8%)、兵庫(12.8%)、島根(12.4%)
岡山(13.7%)、香川(14.7%)、大分(10.1%)、宮崎(11.4%)
・減少率　0%以上10%未満　：埼玉(9.0%)、千葉(9.6%)、東京(1.4%)、神奈川(6.２%)
愛知(8.2%)、滋賀(7.2%)、広島(7.1%)、福岡(2.3%)
熊本(9.1%)、鹿児島(8.6%)
・沖縄は全都道府県で唯一人口が増加する見込み。



18歳人口予測（全体：エリア別：2019～2031年）

■減少率が高いのは東北(2019年比77.3%)、減少数が大きいのは近畿(28,979人減)

・減少率が高いのは、1位東北(2019年比77.3%)、2位甲信越(80.4%)、3位北陸(82.2%)。
・減少数が大きいのは、1位近畿(28,979人減)、2位東北(19,118人減)、3位南関東(17,707人減)
・減少率が低いのは、1位南関東(94.2%)、2位九州沖縄(93.0%)、3位中国(88.9%)。
・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。
① 2019～2020年：全国では約0.7万人減少するが、エリアごとに増減が異なり始める時期
② 2020～2024年：全国では約10.5万人減少するが、エリアごとに増減が異なる時期
③ 2024～2031年：全国で最低となる2024年の水準から回復またはさらに減少する時期
2024年より2031年の人口が増加するのは、南関東、九州沖縄。
その他のエリアは、さらなる減少に転じる見込み。



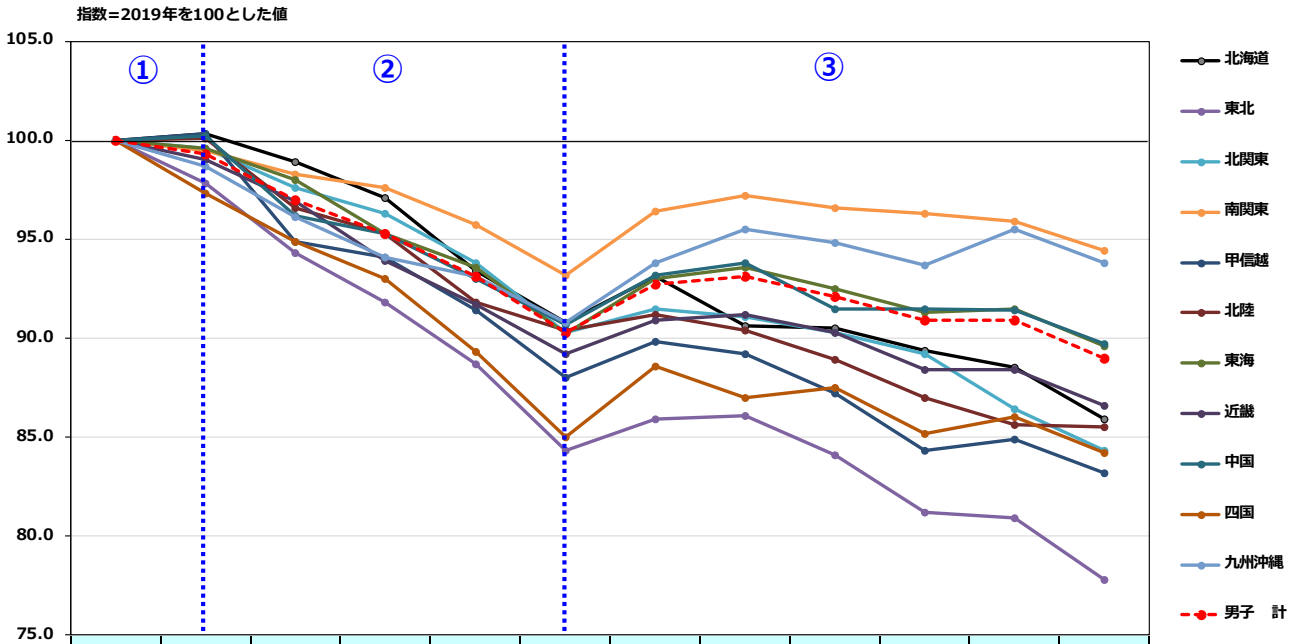
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
全体　計	人数	1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177	1,033,386
	指数	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.2	88.0
北海道	人数	45,486	45,674	45,007	44,040	42,523	41,012	41,895	41,267	41,020	40,142	40,060	39,281	38,308
	指数	100.0	100.4	98.9	96.8	93.5	90.2	92.1	90.7	90.2	88.3	88.1	86.4	84.2
東北	人数	84,393	83,524	80,269	77,972	75,349	71,821	73,138	72,325	71,068	69,057	68,536	66,576	65,275
	指数	100.0	99.0	95.1	92.4	89.3	85.1	86.7	85.7	84.2	81.8	81.2	78.9	77.3
北関東	人数	66,461	66,380	64,677	62,983	61,871	59,658	60,616	60,034	59,354	58,511	56,960	55,587	54,729
	指数	100.0	99.9	97.3	94.8	93.1	89.8	91.2	90.3	89.3	88.0	85.7	83.6	82.3
南関東	人数	306,595	305,457	301,999	297,558	294,255	286,211	295,534	298,184	296,729	294,940	294,233	288,747	288,888
	指数	100.0	99.6	98.5	97.1	96.0	93.4	96.4	97.3	96.8	96.2	96.0	94.2	94.2
甲信越	人数	49,910	49,897	47,817	46,248	45,570	44,050	44,808	44,350	43,662	42,230	42,354	41,353	40,149
	指数	100.0	100.0	95.8	92.7	91.3	88.3	89.8	88.9	87.5	84.6	84.9	82.9	80.4
北陸	人数	29,024	29,004	27,814	27,545	26,691	25,993	26,232	26,363	25,852	25,208	24,451	24,513	23,789
	指数	100.0	99.9	95.8	94.9	92.0	89.6	90.4	90.8	89.1	86.9	84.2	84.5	82.0
東海	人数	147,041	145,478	143,651	140,422	138,255	133,282	136,990	137,732	136,346	134,321	134,406	132,217	129,707
	指数	100.0	98.9	97.7	95.5	94.0	90.6	93.2	93.7	92.7	91.3	91.4	89.9	88.2
近畿	人数	197,547	195,001	190,286	185,178	181,531	175,417	179,067	179,636	178,463	174,576	174,133	171,669	168,568
	指数	100.0	98.7	96.3	93.7	91.9	88.8	90.6	90.9	90.3	88.4	88.1	86.9	85.3
中国	人数	69,850	70,369	68,393	67,085	65,509	63,807	64,458	65,221	64,678	64,235	64,134	63,413	62,109
	指数	100.0	100.7	97.9	96.0	93.8	91.3	92.3	93.4	92.6	92.0	91.8	90.8	88.9
四国	人数	36,321	35,553	34,558	33,179	32,856	31,470	32,221	31,968	31,889	31,251	31,063	30,819	30,046
	指数	100.0	97.9	95.1	91.3	90.5	86.6	88.7	88.0	87.8	86.0	85.5	84.9	82.7
九州沖縄	人数	141,978	141,031	138,139	135,469	132,922	129,758	133,665	136,378	136,374	134,696	136,318	134,303	132,005
	指数	100.0	99.3	97.3	95.4	93.6	91.4	94.1	96.1	96.1	94.9	96.0	94.6	93.0

※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

18歳人口予測(男子：エリア別：2019～2030年)

■減少率が高いのは東北(2019年比77.8%)、減少数が大きいのは近畿(13,565人減)

・減少率が高いのは、1位東北(2019年比77.8%)、2位甲信越(83.2%)、3位四国(84.2%)。
・減少数が大きいのは、1位近畿(13,565人減)、2位東北(9,659人減)、3位南関東(8,849人減)。
・減少率が低いのは、1位南関東 (94.4%)、2位九州沖縄(93.8%)、3位中国(89.7%) 。
・③期において2024年より2030年の男子人口は、北海道(1,113人減)、東北(2,860人減)、北関東(2,048人減)、甲信越(1,207人減)、北陸(720人減)、東海(444人減)、近畿(2,713人減)、中国(357人減)、四国(156人減)。
南関東、九州沖縄は増加に転じる。



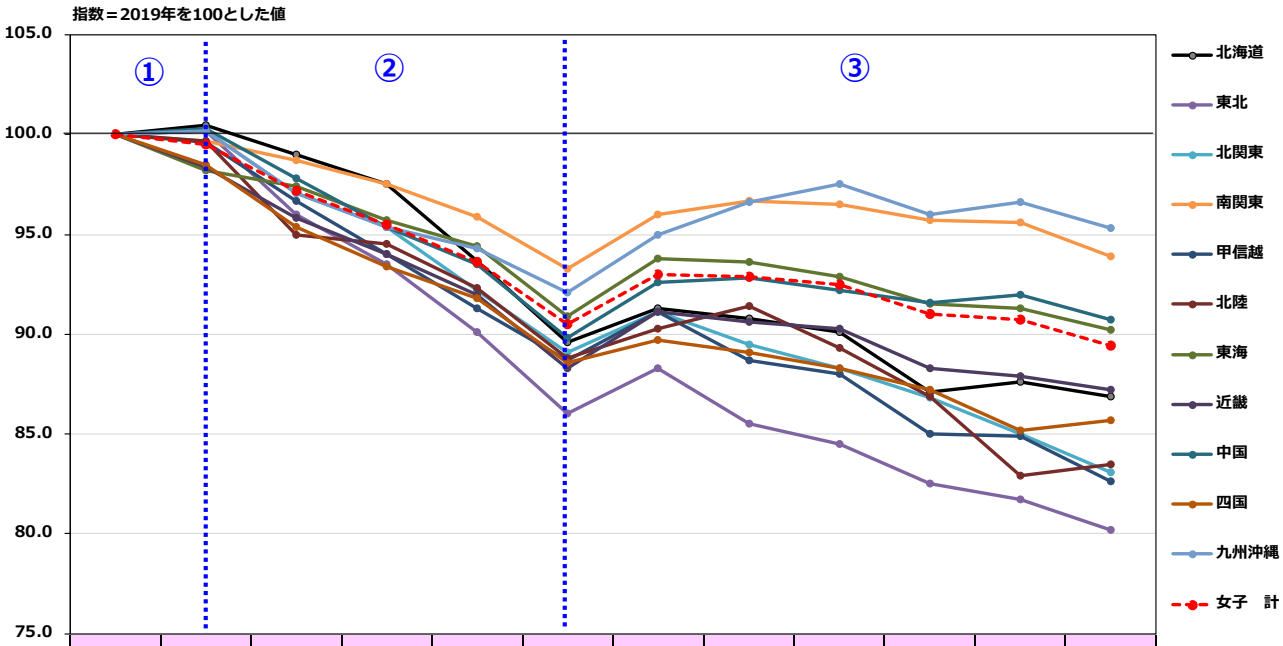
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
男子　計	人数	601,526	597,205	583,713	573,194	560,056	542,996	557,818	560,098	554,144	546,777	546,523	535,437
	指数	100.0	99.3	97.0	95.3	93.1	90.3	92.7	93.1	92.1	90.9	90.9	89.0
北海道	人数	23,138	23,206	22,885	22,471	21,610	20,998	21,534	20,959	20,929	20,678	20,484	19,885
	指数	100.0	100.3	98.9	97.1	93.4	90.8	93.1	90.6	90.5	89.4	88.5	85.9
東北	人数	43,434	42,491	40,967	39,893	38,505	36,635	37,324	37,382	36,508	35,280	35,153	33,775
	指数	100.0	97.8	94.3	91.8	88.7	84.3	85.9	86.1	84.1	81.2	80.9	77.8
北関東	人数	33,843	33,713	33,018	32,591	31,739	30,570	30,964	30,843	30,564	30,186	29,233	28,522
	指数	100.0	99.6	97.6	96.3	93.8	90.3	91.5	91.1	90.3	89.2	86.4	84.3
南関東	人数	156,751	156,005	154,144	153,056	150,010	146,047	151,151	152,396	151,366	150,904	150,345	147,902
	指数	100.0	99.5	98.3	97.6	95.7	93.2	96.4	97.2	96.6	96.3	95.9	94.4
甲信越	人数	25,600	25,673	24,304	24,077	23,389	22,518	22,991	22,828	22,320	21,583	21,728	21,311
	指数	100.0	100.3	94.9	94.1	91.4	88.0	89.8	89.2	87.2	84.3	84.9	83.2
北陸	人数	14,792	14,814	14,287	14,095	13,577	13,368	13,483	13,367	13,143	12,866	12,667	12,648
	指数	100.0	100.1	96.6	95.3	91.8	90.4	91.2	90.4	88.9	87.0	85.6	85.5
東海	人数	75,365	75,092	73,828	71,805	70,516	67,995	70,065	70,510	69,705	68,820	68,986	67,551
	指数	100.0	99.6	98.0	95.3	93.6	90.2	93.0	93.6	92.5	91.3	91.5	89.6
近畿	人数	100,917	99,916	97,759	94,809	92,551	90,065	91,750	92,021	91,109	89,173	89,187	87,352
	指数	100.0	99.0	96.9	93.9	91.7	89.2	90.9	91.2	90.3	88.4	88.4	86.6
中国	人数	35,861	35,922	34,513	34,176	33,353	32,535	33,405	33,654	32,798	32,804	32,793	32,178
	指数	100.0	100.2	96.2	95.3	93.0	90.7	93.2	93.8	91.5	91.5	91.4	89.7
四国	人数	18,702	18,193	17,754	17,391	16,708	15,899	16,562	16,279	16,359	15,934	16,091	15,743
	指数	100.0	97.3	94.9	93.0	89.3	85.0	88.6	87.0	87.5	85.2	86.0	84.2
九州沖縄	人数	73,123	72,180	70,254	68,830	68,098	66,366	68,589	69,859	69,343	68,549	69,856	68,570
	指数	100.0	98.7	96.1	94.1	93.1	90.8	93.8	95.5	94.8	93.7	95.5	93.8

※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

18歳人口予測（女子：エリア別：2018～2030年）

■減少率が高いのは東北 (2019年比80.2%) 、減少数が大きいのは近畿 (12,321人減)

・減少率が高いのは、1位東北(2019年比80.2%) 、2位甲信越(82.6%) 、3位北関東 (83.1%) 。
・減少数が大きいのは、1位近畿(12,321人減) 、2位南関東(9,140人減) 、3位東北(8,100人減) 。
・減少率が低いのは、1位九州沖縄(95.3%) 、2位南関東(93.9%) 、3位中国(90.7%) 。
・③期において2024年より2029年の女子人口は、北海道(609人減) 、東北(2,364人減) 、北関東(1,985人減) 、甲信越(1,494人減) 、北陸(751人減) 、東海(487人減) 、近畿(1,010人減) 、中国(289人減) 、四国(511人減) 。
南関東、九州沖縄は増加に転じる。



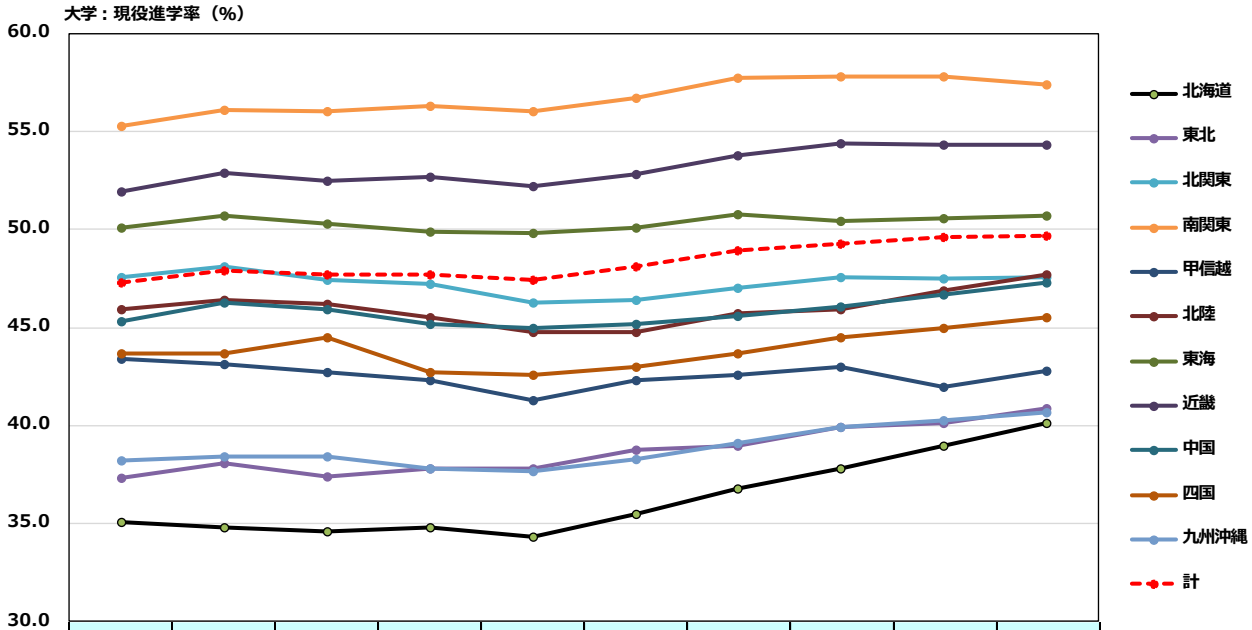
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
女子　計	人数	573,275	570,143	557,427	547,756	536,590	518,594	533,270	532,655	530,247	521,676	519,807	512,735
	指数	100.0	99.5	97.2	95.5	93.6	90.5	93.0	92.9	92.5	91.0	90.7	89.4
北海道	人数	22,348	22,468	22,122	21,785	20,945	20,024	20,401	20,297	20,146	19,468	19,588	19,415
	指数	100.0	100.5	99.0	97.5	93.7	89.6	91.3	90.8	90.1	87.1	87.6	86.9
東北	人数	40,959	41,033	39,302	38,282	36,923	35,223	36,160	35,026	34,619	33,801	33,472	32,859
	指数	100.0	100.2	96.0	93.5	90.1	86.0	88.3	85.5	84.5	82.5	81.7	80.2
北関東	人数	32,618	32,667	31,659	31,130	30,085	29,076	29,710	29,177	28,805	28,299	27,718	27,091
	指数	100.0	100.2	97.1	95.4	92.2	89.1	91.1	89.5	88.3	86.8	85.0	83.1
南関東	人数	149,844	149,452	147,855	146,081	143,729	139,831	143,879	144,965	144,564	143,392	143,265	140,704
	指数	100.0	99.7	98.7	97.5	95.9	93.3	96.0	96.7	96.5	95.7	95.6	93.9
甲信越	人数	24,310	24,224	23,513	22,840	22,183	21,564	22,142	21,556	21,386	20,652	20,648	20,070
	指数	100.0	99.6	96.7	94.0	91.3	88.7	91.1	88.7	88.0	85.0	84.9	82.6
北陸	人数	14,232	14,190	13,527	13,455	13,140	12,633	12,846	13,008	12,712	12,372	11,792	11,882
	指数	100.0	99.7	95.0	94.5	92.3	88.8	90.3	91.4	89.3	86.9	82.9	83.5
東海	人数	71,676	70,386	69,823	68,591	67,638	65,163	67,260	67,090	66,564	65,574	65,413	64,676
	指数	100.0	98.2	97.4	95.7	94.4	90.9	93.8	93.6	92.9	91.5	91.3	90.2
近畿	人数	96,630	95,085	92,527	90,811	88,899	85,319	88,008	87,588	87,267	85,322	84,973	84,309
	指数	100.0	98.4	95.8	94.0	92.0	88.3	91.1	90.6	90.3	88.3	87.9	87.2
中国	人数	34,184	34,271	33,432	32,627	31,972	30,709	31,652	31,716	31,528	31,311	31,444	30,998
	指数	100.0	100.3	97.8	95.4	93.5	89.8	92.6	92.8	92.2	91.6	92.0	90.7
四国	人数	17,619	17,360	16,804	16,449	16,178	15,603	15,809	15,702	15,555	15,357	15,009	15,092
	指数	100.0	98.5	95.4	93.4	91.8	88.6	89.7	89.1	88.3	87.2	85.2	85.7
九州沖縄	人数	68,855	69,007	66,863	65,705	64,898	63,449	65,403	66,530	67,101	66,128	66,485	65,639
	指数	100.0	100.2	97.1	95.4	94.3	92.1	95.0	96.6	97.5	96.0	96.6	95.3

※データ元：「平成30年度（2018年度）学校基本調査　確報値」より

大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018年）

■2009年47.3%→2018年49.7%(2.4ポイント上昇)

・全体の大学進学率は2009年47.3%→2018年49.7%と、10年間で2.4ポイント上昇。
　2009～2012年の4年間は横ばいのトレンド(47.3%→47.7%)。
　2013～2018年にかけて2.3ポイントの上昇（47.4%→49.7%）。
・上昇率が高いのは、1位北海道(114.2)、2位東北(109.7)、3位九州沖縄(106.5)。※
・上昇率が低いのは、1位甲信越(98.6)、2位北関東(100.0)、3位東海(101.2)。※
・進学率が高いのは、1位南関東(2018年57.4%)、2位近畿(54.3%)、3位東海(50.7%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
計	進学率	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7
	指数	100.0	101.3	100.8	100.8	100.2	101.7	103.4	104.2	104.9	105.1
北海道	進学率	35.1	34.8	34.6	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1
	指数	100.0	99.1	98.6	99.1	97.7	101.1	104.8	107.7	111.1	114.2
東北	進学率	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9
	指数	100.0	102.1	100.3	101.3	101.3	104.0	104.6	107.0	107.5	109.7
北関東	進学率	47.6	48.1	47.4	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6
	指数	100.0	101.1	99.6	99.2	97.3	97.5	98.7	100.0	99.8	100.0
南関東	進学率	55.3	56.1	56.0	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4
	指数	100.0	101.4	101.3	101.8	101.3	102.5	104.3	104.5	104.5	103.8
甲信越	進学率	43.4	43.1	42.7	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8
	指数	100.0	99.3	98.4	97.5	95.2	97.5	98.2	99.1	96.8	98.6
北陸	進学率	45.9	46.4	46.2	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7
	指数	100.0	101.1	100.7	99.1	97.6	97.6	99.6	100.0	102.2	103.9
東海	進学率	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7
	指数	100.0	101.2	100.4	99.6	99.4	100.0	101.4	100.6	101.0	101.2
近畿	進学率	51.9	52.9	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3
	指数	100.0	101.9	101.2	101.5	100.6	101.7	103.7	104.8	104.6	104.6
中国	進学率	45.3	46.3	45.9	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3
	指数	100.0	102.2	101.3	99.8	99.3	99.8	100.7	101.8	103.1	104.4
四国	進学率	43.7	43.7	44.5	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5
	指数	100.0	100.0	101.8	97.7	97.5	98.4	100.0	101.8	103.0	104.1
九州沖縄	進学率	38.2	38.4	38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7
	指数	100.0	100.5	100.5	99.0	98.7	100.3	102.4	104.5	105.5	106.5

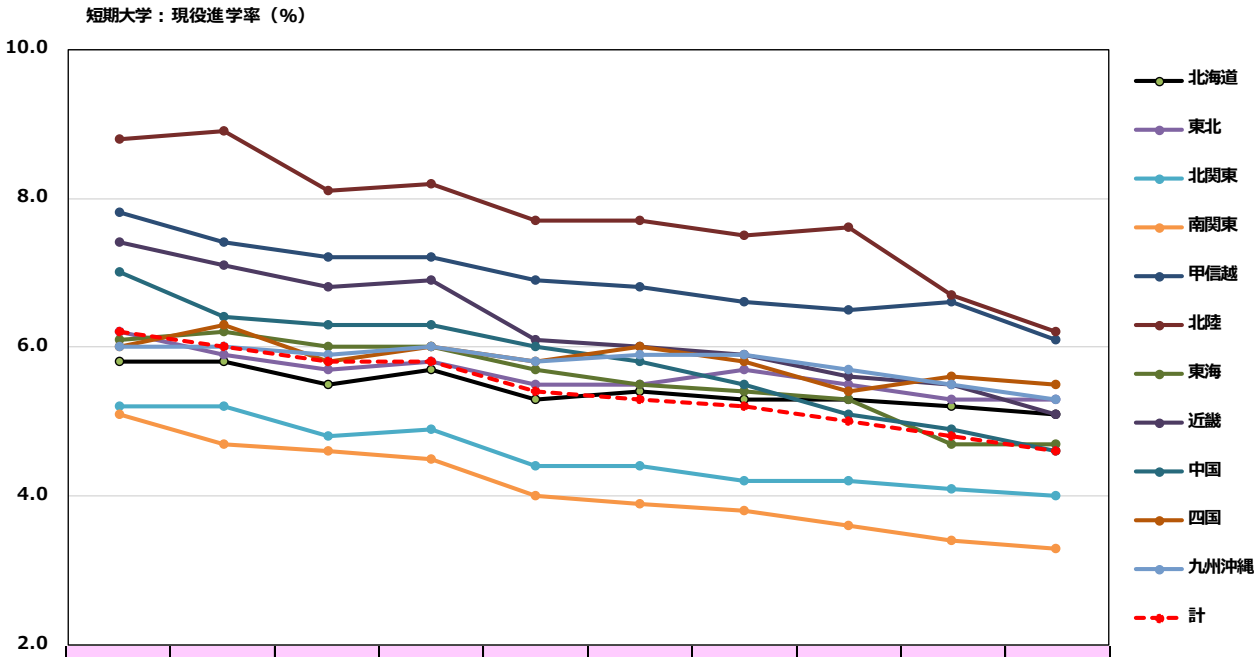
※データ元：「学校基本調査　確報値」より

リクルート進学総研

短期大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018年）

■2009年6.2%→2018年4.6%(1.6ポイント低下)

・全国の短期大学進学率は2009年6.2%→2018年4.6%と、10年間で1.6ポイント低下。
・低下率が高いのは、1位南関東(64.7) 、2位中国(65.7) 、3位近畿(68.9) 。※
・低下率が低いのは、1位四国(91.7) 、2位九州沖縄(88.3) 、3位北海道(87.9) 。※
・進学率が高いのは、1位北陸(2018年6.2%) 、2位甲信越(6.1%) 、3位四国(5.5%) 。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
計	進学率	6.2	6.0	5.8	5.8	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8	4.6
	指数	100.0	96.8	93.5	93.5	87.1	85.5	83.9	80.6	77.4	74.2
北海道	進学率	5.8	5.8	5.5	5.7	5.3	5.4	5.3	5.3	5.2	5.1
	指数	100.0	100.0	94.8	98.3	91.4	93.1	91.4	91.4	89.7	87.9
東北	進学率	6.2	5.9	5.7	5.8	5.5	5.5	5.7	5.5	5.3	5.3
	指数	100.0	95.2	91.9	93.5	88.7	88.7	91.9	88.7	85.5	85.5
北関東	進学率	5.2	5.2	4.8	4.9	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0
	指数	100.0	100.0	92.3	94.2	84.6	84.6	80.8	80.8	78.8	76.9
南関東	進学率	5.1	4.7	4.6	4.5	4.0	3.9	3.8	3.6	3.4	3.3
	指数	100.0	92.2	90.2	88.2	78.4	76.5	74.5	70.6	66.7	64.7
甲信越	進学率	7.8	7.4	7.2	7.2	6.9	6.8	6.6	6.5	6.6	6.1
	指数	100.0	94.9	92.3	92.3	88.5	87.2	84.6	83.3	84.6	78.2
北陸	進学率	8.8	8.9	8.1	8.2	7.7	7.7	7.5	7.6	6.7	6.2
	指数	100.0	101.1	92.0	93.2	87.5	87.5	85.2	86.4	76.1	70.5
東海	進学率	6.1	6.2	6.0	6.0	5.7	5.5	5.4	5.3	4.7	4.7
	指数	100.0	101.6	98.4	98.4	93.4	90.2	88.5	86.9	77.0	77.0
近畿	進学率	7.4	7.1	6.8	6.9	6.1	6.0	5.9	5.6	5.5	5.1
	指数	100.0	95.9	91.9	93.2	82.4	81.1	79.7	75.7	74.3	68.9
中国	進学率	7.0	6.4	6.3	6.3	6.0	5.8	5.5	5.1	4.9	4.6
	指数	100.0	91.4	90.0	90.0	85.7	82.9	78.6	72.9	70.0	65.7
四国	進学率	6.0	6.3	5.8	6.0	5.8	6.0	5.8	5.4	5.6	5.5
	指数	100.0	105.0	96.7	100.0	96.7	100.0	96.7	90.0	93.3	91.7
九州沖縄	進学率	6.0	6.0	5.9	6.0	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5	5.3
	指数	100.0	100.0	98.3	100.0	96.7	98.3	98.3	95.0	91.7	88.3

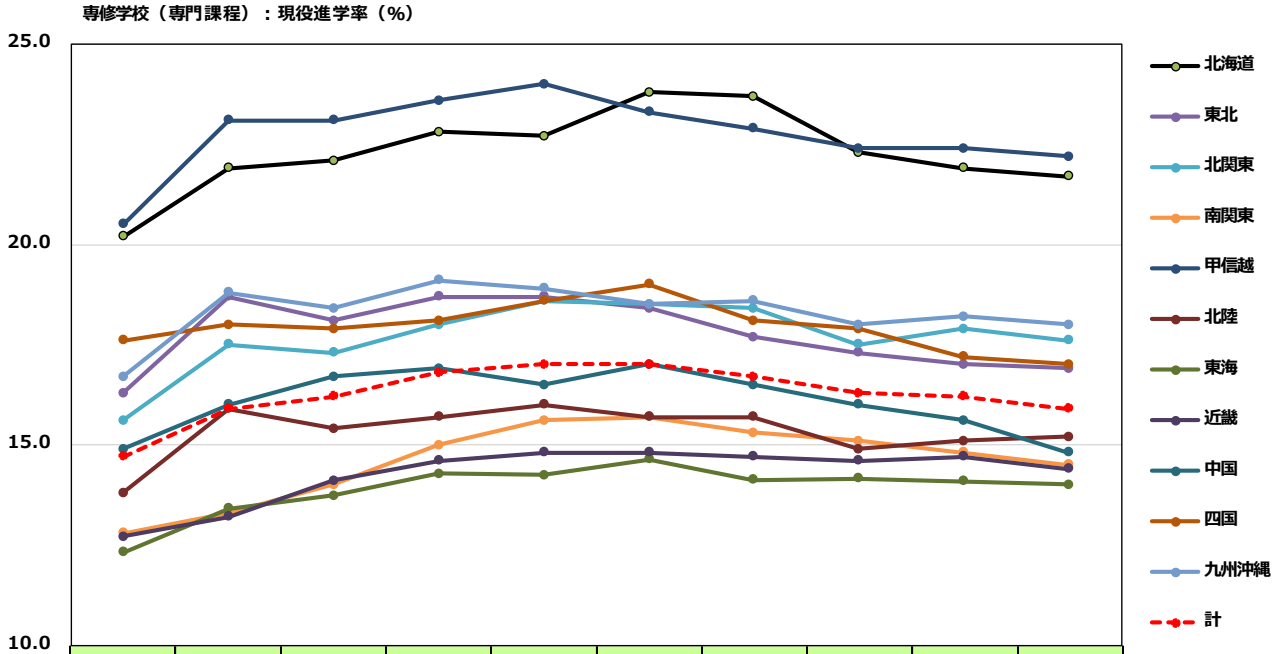
※データ元：「学校基本調査　確報値」より

リクルート進学総研

専門学校進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018年）

■2009年14.7%→2018年15.9%(1.2ポイント上昇)

・全国の専門学校進学率は2009年14.7%→2018年15.9%と、10年間で1.2ポイント上昇。
　2013年2014年は横ばい、しかし2015年16.7%と再び上昇している。
・上昇率が高いのは、1位東海(113.6) 、2位近畿(113.4) 、3位南関東(113.3) 。※
・上昇率が低いのは、1位四国(96.6) 、2位中国(99.3) 、3位東北(103.7) 。※
・進学率が高いのは、1位甲信越(2018年22.2%) 、2位北海道(21.7%) 、3位九州沖縄(18.0%)。
注）※の( )内の数値は、2009年を100としたときの2018年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
計	進学率	14.7	15.9	16.2	16.8	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2	15.9
	指数	100.0	108.2	110.2	114.3	115.6	115.6	113.6	110.9	110.2	108.2
北海道	進学率	20.2	21.9	22.1	22.8	22.7	23.8	23.7	22.3	21.9	21.7
	指数	100.0	108.4	109.4	112.9	112.4	117.8	117.3	110.4	108.4	107.4
東北	進学率	16.3	18.7	18.1	18.7	18.7	18.4	17.7	17.3	17.0	16.9
	指数	100.0	114.7	111.0	114.7	114.7	112.9	108.6	106.1	104.3	103.7
北関東	進学率	15.6	17.5	17.3	18.0	18.6	18.5	18.4	17.5	17.9	17.6
	指数	100.0	112.2	110.9	115.4	119.2	118.6	117.9	112.2	114.7	112.8
南関東	進学率	12.8	13.3	14.0	15.0	15.6	15.7	15.3	15.1	14.8	14.5
	指数	100.0	103.9	109.4	117.2	121.9	122.7	119.5	118.0	115.6	113.3
甲信越	進学率	20.5	23.1	23.1	23.6	24.0	23.3	22.9	22.4	22.4	22.2
	指数	100.0	112.7	112.7	115.1	117.1	113.7	111.7	109.3	109.3	108.3
北陸	進学率	13.8	15.9	15.4	15.7	16.0	15.7	15.7	14.9	15.1	15.2
	指数	100.0	115.2	111.6	113.8	115.9	113.8	113.8	108.0	109.4	110.1
東海	進学率	12.3	13.4	13.7	14.3	14.3	14.6	14.1	14.2	14.1	14.0
	指数	100.0	108.8	111.4	115.9	115.7	118.8	114.6	114.9	114.4	113.6
近畿	進学率	12.7	13.2	14.1	14.6	14.8	14.8	14.7	14.6	14.7	14.4
	指数	100.0	103.9	111.0	115.0	116.5	116.5	115.7	115.0	115.7	113.4
中国	進学率	14.9	16.0	16.7	16.9	16.5	17.0	16.5	16.0	15.6	14.8
	指数	100.0	107.4	112.1	113.4	110.7	114.1	110.7	107.4	104.7	99.3
四国	進学率	17.6	18.0	17.9	18.1	18.6	19.0	18.1	17.9	17.2	17.0
	指数	100.0	102.3	101.7	102.8	105.7	108.0	102.8	101.7	97.7	96.6
九州沖縄	進学率	16.7	18.8	18.4	19.1	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2	18.0
	指数	100.0	112.6	110.2	114.4	113.2	110.8	111.4	107.8	109.0	107.8

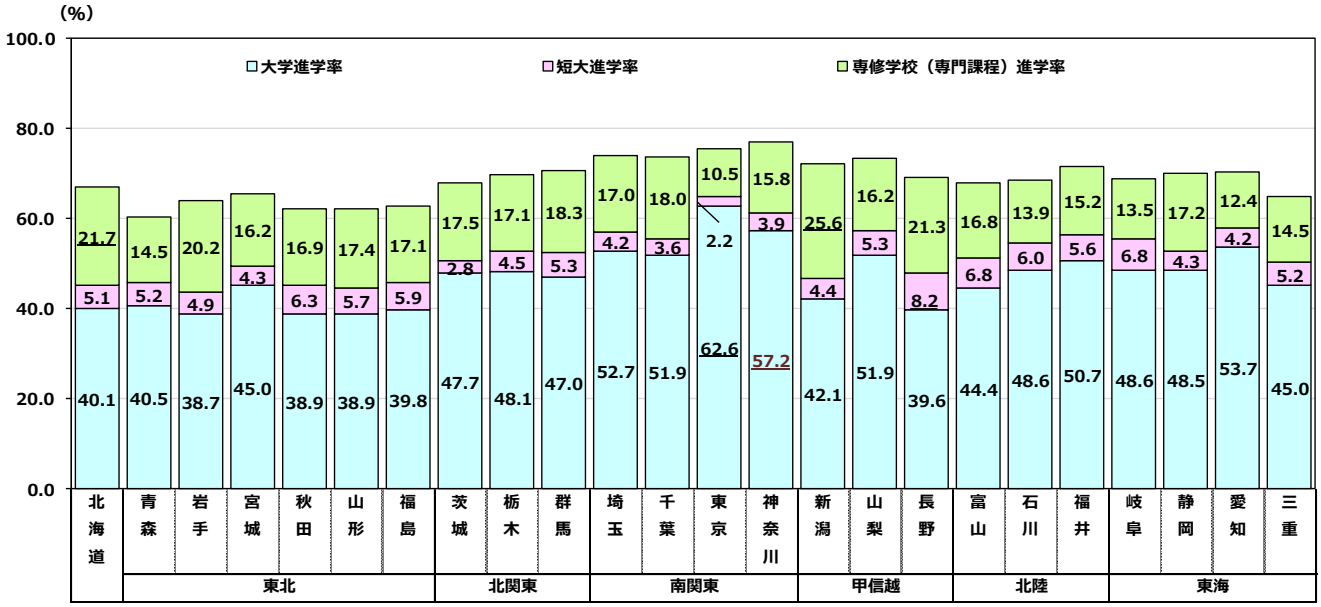
※データ元：「学校基本調査　確報値」より

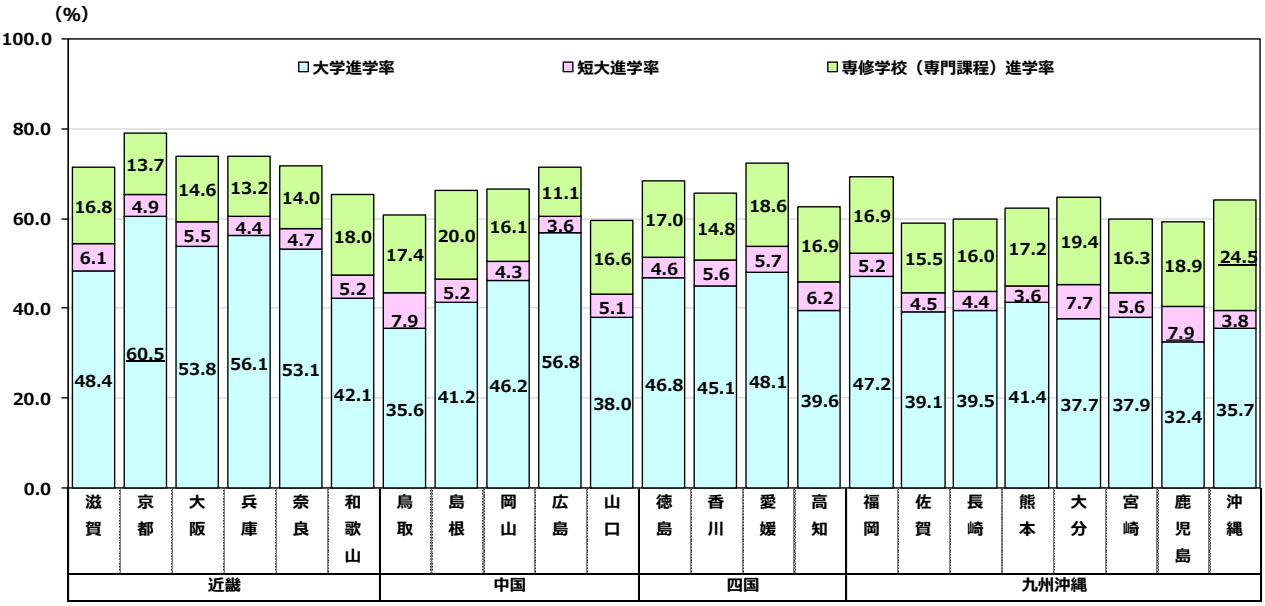
リクルート進学総研

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2018年)

■大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は長野、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率	1位：東京(62.6%)	2位：京都(60.5%)	3位：神奈川(57.2%)
短期大学進学率	1位：長野(8.2%)	2位：鳥取(7.9%)	2位：鹿児島(7.9%)
専門学校進学率	1位：新潟(25.6%)	2位：沖縄(24.5%)	3位：北海道(21.7%)





※データ元：「学校基本調査　確報値」より

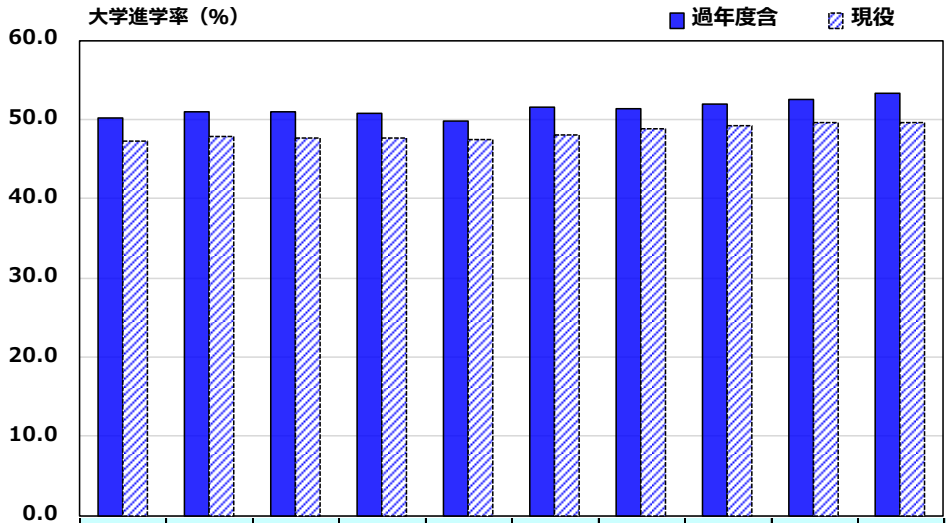
リクルート進学総研

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較：全国：2009～2018年)

■現役と過年度含の進学率の差は、大学は3.6ポイント(過年度含が高い)
短期大学はほとんど差なし。

大学進学者

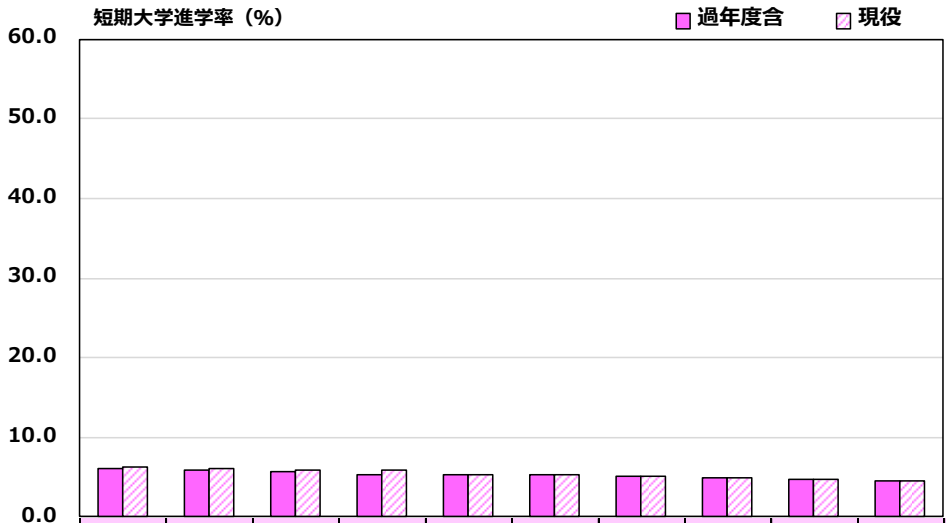
・現役の進学率は2009年47.3%→2018年49.7%(2.4ポイント上昇) 。
過年度含の進学率は2009年50.2%→2018年53.3%(3.1ポイント上昇) 。
・過年度含と現役の進学率の差は2009年2.9ポイント→2018年3.6ポイント。



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
大学	過年度含	50.2	50.9	51.0	50.8	49.9	51.5	51.5	52.0	52.6	53.3
	現役	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7

短期大学進学者

・現役の進学率は2009年6.2%→2018年4.6%(1.6ポイント低下)。
過年度含の進学率は2009年6.0%→2018年4.6%(1.4ポイント低下)。
・過年度含と現役の進学率の差は2009年0.2ポイント→2018年差がなくなった。
（4.6%同率）



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
短期大学	過年度含	6.0	5.9	5.7	5.4	5.3	5.2	5.1	4.9	4.7	4.6
	現役	6.2	6.0	5.8	5.8	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8	4.6

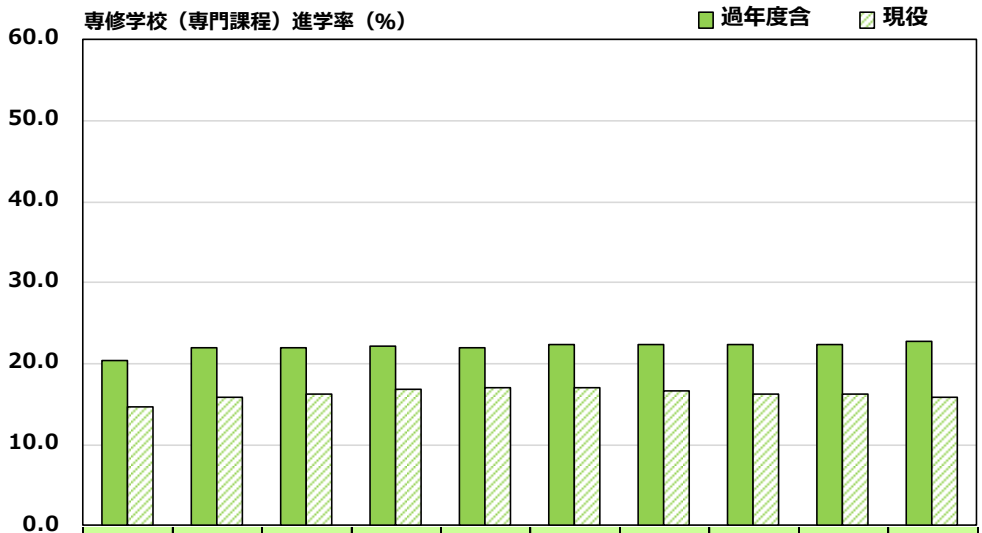
※データ元：「学校基本調査　確報値」より

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較：全国：2009～2018年）

■専門学校で現役と過年度含の進学率の差は、6.8ポイント(過年度含が高い)

専門学校進学者

・現役の進学率は2009年14.7%→2018年15.9%(1.2ポイント上昇) 。
　過年度含の進学率は2009年20.4%→2018年22.7%(2.3ポイント上昇) 。
・過年度含と現役の進学率の差は2009年5.7ポイント→2018年6.8ポイントと拡大。



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
専門学校	過年度含	20.4	22.0	21.9	22.2	21.9	22.4	22.4	22.3	22.4	22.7
	現役	14.7	15.9	16.2	16.8	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2	15.9

※データ元：「学校基本調査　確報値」より

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

大学			短期大学			専門学校		
順位	都道府県名	進学率(%)	順位	都道府県名	進学率(%)	順位	都道府県名	進学率(%)
1	東京	62.6	1	長野	8.2	1	新潟	25.6
2	京都	60.5	2	鹿児島	7.9	2	沖縄	24.5
3	神奈川	57.2	2	鳥取	7.9	3	北海道	21.7
4	広島	56.8	4	大分	7.7	4	長野	21.3
5	兵庫	56.1	5	岐阜	6.8	5	岩手	20.2
6	大阪	53.8	5	富山	6.8	6	島根	20.0
7	愛知	53.7	7	秋田	6.3	7	大分	19.4
8	奈良	53.1	8	高知	6.2	8	鹿児島	18.9
9	埼玉	52.7	9	滋賀	6.1	9	愛媛	18.6
10	千葉	51.9	10	石川	6.0	10	群馬	18.3
10	山梨	51.9	11	福島	5.9	11	千葉	18.0
12	福井	50.7	12	愛媛	5.7	11	和歌山	18.0
13	石川	48.6	12	山形	5.7	13	茨城	17.5
13	岐阜	48.6	14	香川	5.6	14	鳥取	17.4
15	静岡	48.5	14	福井	5.6	14	山形	17.4
16	滋賀	48.4	14	宮崎	5.6	16	熊本	17.2
17	栃木	48.1	17	大阪	5.5	16	静岡	17.2
17	愛媛	48.1	18	群馬	5.3	18	栃木	17.1
19	茨城	47.7	18	山梨	5.3	18	福島	17.1
20	福岡	47.2	20	青森	5.2	20	埼玉	17.0
			20	島根	5.2	20	徳島	17.0
			20	福岡	5.2			
			20	三重	5.2			
			20	和歌山	5.2			

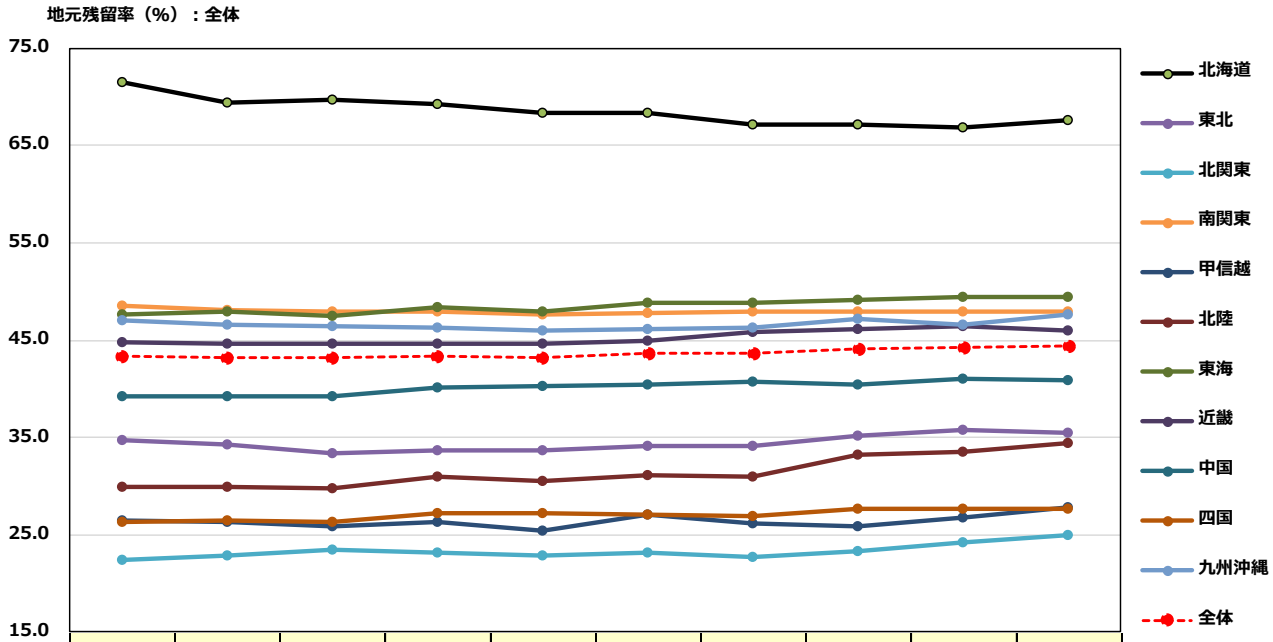
※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2010～2019年）

■2010年43.4%→2019年44.4%(1.0ポイント上昇)

・全体で2010年43.4%→2019年44.4%と1.0ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北陸(115.1) 、2位甲信越(105.3) 、3位四国(104.9) 。※
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年67.6%) 、2位東海(49.5%) 、3位南関東(47.9%) 。
・北海道は2010年で71.5%という高い残留率だったが、2019年で67.6%と3.9ポイント低下。ただし数値としては飛び抜けて高く、2位の東海(49.5%)に20ポイント近い差をつけており、全体平均を引き上げている。

注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体	残留率	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4
	指数	100.0	99.5	99.5	100.0	99.5	100.5	100.7	101.6	101.8	102.3
北海道	残留率	71.5	69.4	69.7	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6
	指数	100.0	97.1	97.5	96.8	95.7	95.5	93.8	94.0	93.6	94.5
東北	残留率	34.7	34.2	33.3	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5
	指数	100.0	98.6	96.0	97.1	96.8	98.3	98.3	101.4	102.9	102.3
北関東	残留率	22.4	22.8	23.4	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0
	指数	100.0	97.1	97.5	96.8	95.7	95.5	93.8	94.0	93.6	94.5
南関東	残留率	48.5	48.1	48.0	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9
	指数	100.0	99.2	99.0	98.8	98.4	98.6	98.8	99.0	98.8	98.8
甲信越	残留率	26.4	26.3	25.9	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8
	指数	100.0	99.6	98.1	99.6	96.2	102.7	99.2	98.1	101.1	105.3
北陸	残留率	29.9	29.9	29.7	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4
	指数	100.0	100.0	99.3	103.7	102.0	104.0	103.3	111.0	112.0	115.1
東海	残留率	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5
	指数	100.0	100.8	99.8	101.7	100.8	102.7	102.7	103.4	104.0	104.0
近畿	残留率	44.8	44.7	44.7	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0
	指数	100.0	99.8	99.8	99.6	99.8	100.4	102.2	102.9	103.6	102.7
中国	残留率	39.2	39.3	39.2	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9
	指数	100.0	100.3	100.0	102.3	102.8	103.3	103.8	103.3	104.6	104.3
四国	残留率	26.3	26.5	26.3	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6
	指数	100.0	100.8	100.0	103.4	103.4	103.0	102.3	105.3	104.9	104.9
九州沖縄	残留率	47.1	46.6	46.5	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7
	指数	100.0	98.9	98.7	98.3	97.7	97.9	98.3	100.2	98.9	101.3

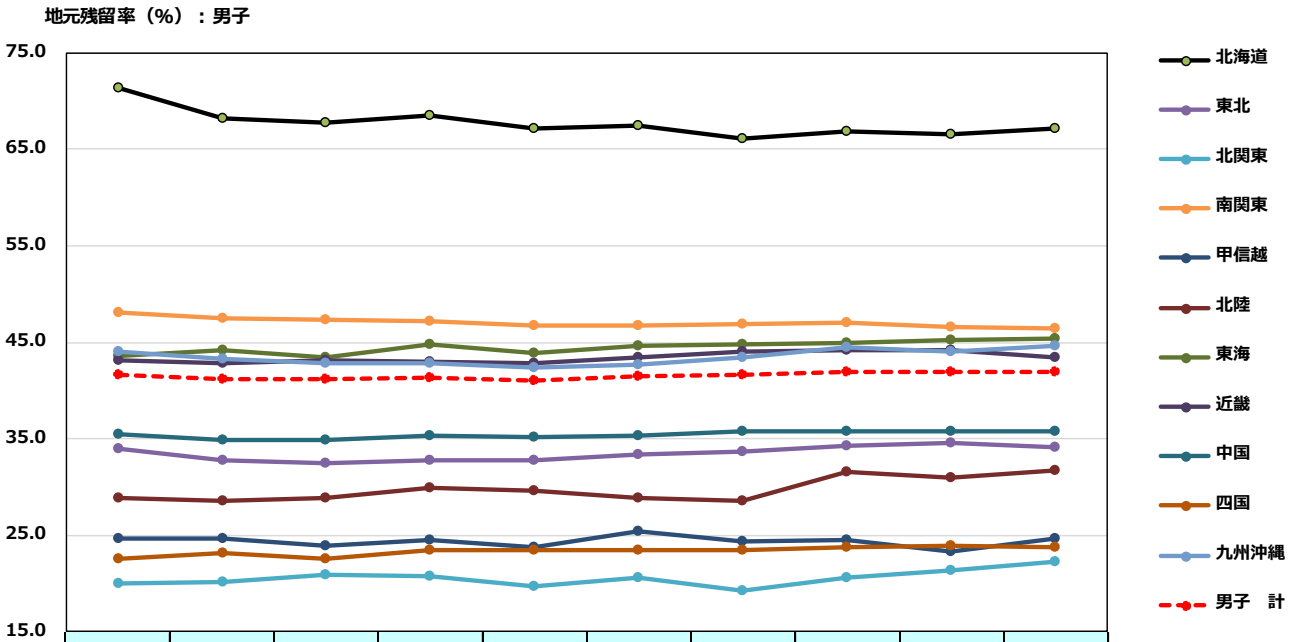
※データ元：2010年~2018年＝「学校基本調査 確報値」 / 2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査 速報値」より

リクルート進学総研

地元残留率の推移(男子：大学入学者数：エリア別：2010～2019年)

■2010年41.7%→2019年41.9%(0.2ポイント上昇)

・男子は2010年41.7%→2019年41.9%と0.2ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(111.0)、2位北陸(109.7)、3位四国(104.9)。※
・上昇率が低いのは、1位北海道(94.0)、2位南関東(96.7)、3位甲信越(100.4)。
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年67.1%)、2位南関東(46.5%)、3位東海(45.4%)。
注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



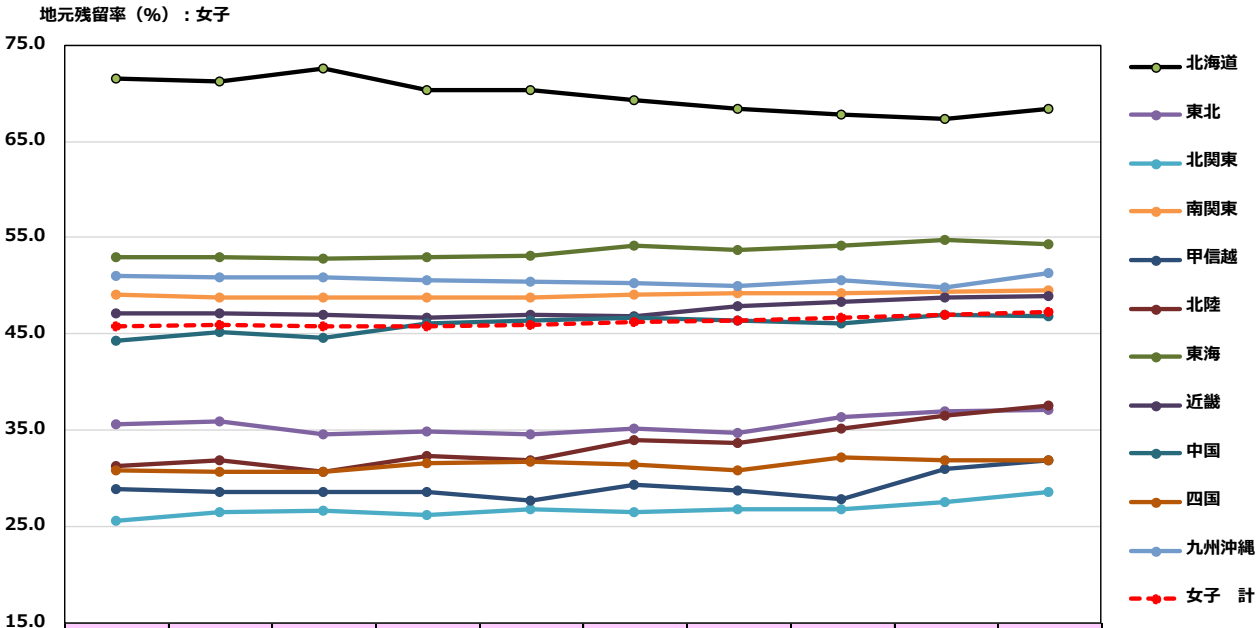
		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
男子　計	残留率	41.7	41.2	41.2	41.4	41.0	41.5	41.6	42.0	41.9	41.9
	指数	100.0	98.8	98.8	99.3	98.3	99.5	99.8	100.7	100.5	100.5
北海道	残留率	71.4	68.2	67.8	68.5	67.1	67.5	66.1	66.8	66.6	67.1
	指数	100.0	95.5	95.0	95.9	94.0	94.5	92.6	93.6	93.3	94.0
東北	残留率	33.9	32.8	32.4	32.7	32.7	33.3	33.6	34.2	34.6	34.1
	指数	100.0	96.8	95.6	96.5	96.5	98.2	99.1	100.9	102.1	100.6
北関東	残留率	20.0	20.1	20.9	20.7	19.7	20.6	19.3	20.6	21.3	22.2
	指数	100.0	100.5	104.5	103.5	98.5	103.0	96.5	103.0	106.5	111.0
南関東	残留率	48.1	47.5	47.4	47.2	46.8	46.8	46.9	47.0	46.6	46.5
	指数	100.0	98.8	98.5	98.1	97.3	97.3	97.5	97.7	96.9	96.7
甲信越	残留率	24.6	24.6	23.9	24.5	23.7	25.4	24.3	24.5	23.3	24.7
	指数	100.0	100.0	97.2	99.6	96.3	103.3	98.8	99.6	94.7	100.4
北陸	残留率	28.9	28.5	28.9	29.9	29.6	28.8	28.6	31.5	31.0	31.7
	指数	100.0	98.6	100.0	103.5	102.4	99.7	99.0	109.0	107.3	109.7
東海	残留率	43.6	44.2	43.4	44.8	43.9	44.6	44.8	45.0	45.2	45.4
	指数	100.0	101.4	99.5	102.8	100.7	102.3	102.8	103.2	103.7	104.1
近畿	残留率	43.1	42.8	43.1	43.0	42.8	43.5	44.0	44.2	44.2	43.5
	指数	100.0	99.3	100.0	99.8	99.3	100.9	102.1	102.6	102.6	100.9
中国	残留率	35.4	34.8	34.8	35.3	35.2	35.3	35.7	35.7	35.8	35.7
	指数	100.0	98.3	98.3	99.7	99.4	99.7	100.8	100.8	101.1	100.8
四国	残留率	22.6	23.2	22.6	23.5	23.4	23.4	23.4	23.7	23.9	23.7
	指数	100.0	102.7	100.0	104.0	103.5	103.5	103.5	104.9	105.8	104.9
九州沖縄	残留率	44.1	43.3	42.9	42.9	42.4	42.7	43.4	44.5	44.0	44.6
	指数	100.0	98.2	97.3	97.3	96.1	96.8	98.4	100.9	99.8	101.1

※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

地元残留率の推移(女子：大学入学者数：エリア別：2010～2019年)

■2010年45.7%→2019年47.3%(1.6ポイント上昇)

・女子は2010年45.7%→2019年47.3%と1.6ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北陸(120.1) 、2位北関東(111.3) 、3位中国(105.9) 。※
・10年間で低下したのは北海道(71.5%→68.3%) 。
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年68.3%) 、2位東海(54.3%) 、3位九州沖縄(51.3%) 。
注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



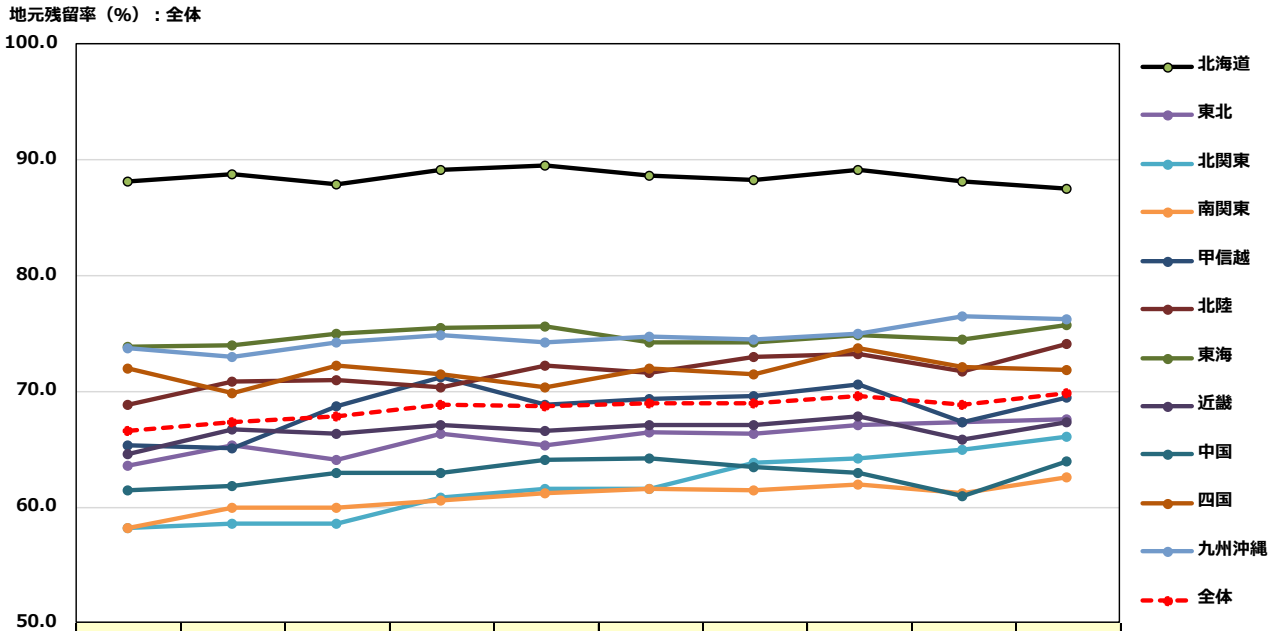
		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
女子　計	残留率	45.7	45.9	45.7	45.8	45.9	46.2	46.3	46.6	47.0	47.3
	指数	100.0	100.4	100.0	100.2	100.4	101.1	101.3	102.0	102.8	103.5
北海道	残留率	71.5	71.2	72.5	70.3	70.3	69.3	68.4	67.7	67.3	68.3
	指数	100.0	99.6	101.4	98.3	98.3	96.9	95.7	94.7	94.1	95.5
東北	残留率	35.6	35.9	34.5	34.9	34.6	35.1	34.7	36.4	37.0	37.1
	指数	100.0	100.8	96.9	98.0	97.2	98.6	97.5	102.2	103.9	104.2
北関東	残留率	25.6	26.5	26.6	26.1	26.7	26.5	26.7	26.7	27.5	28.5
	指数	100.0	103.5	103.9	102.0	104.3	103.5	104.3	104.3	107.4	111.3
南関東	残留率	49.0	48.8	48.7	48.8	48.7	49.0	49.2	49.2	49.4	49.5
	指数	100.0	99.6	99.4	99.6	99.4	100.0	100.4	100.4	100.8	101.0
甲信越	残留率	28.9	28.6	28.6	28.5	27.7	29.3	28.7	27.8	31.0	31.8
	指数	100.0	99.0	99.0	98.6	95.8	101.4	99.3	96.2	107.3	110.0
北陸	残留率	31.3	31.9	30.7	32.3	31.8	34.0	33.7	35.2	36.5	37.6
	指数	100.0	101.9	98.1	103.2	101.6	108.6	107.7	112.5	116.6	120.1
東海	残留率	53.0	53.0	52.8	53.0	53.1	54.1	53.7	54.1	54.7	54.3
	指数	100.0	100.0	99.6	100.0	100.2	102.1	101.3	102.1	103.2	102.5
近畿	残留率	47.1	47.1	46.9	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9
	指数	100.0	100.0	99.6	98.9	99.8	99.4	101.7	102.5	103.6	103.8
中国	残留率	44.2	45.1	44.6	46.0	46.3	46.7	46.4	46.0	46.9	46.8
	指数	100.0	102.0	100.9	104.1	104.8	105.7	105.0	104.1	106.1	105.9
四国	残留率	30.8	30.6	30.7	31.5	31.7	31.4	30.8	32.2	31.8	31.9
	指数	100.0	99.4	99.7	102.3	102.9	101.9	100.0	104.5	103.2	103.6
九州沖縄	残留率	51.0	50.8	50.9	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3
	指数	100.0	99.6	99.8	99.2	98.8	98.4	98.0	99.0	97.6	100.6

※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

地元残留率の推移(全体：短期大学入学者数：エリア別：2010～2019年)

■2010年66.6%→2019年69.9%(3.3ポイント上昇)

・全体で2010年66.6%→2019年69.9%と3.3ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(113.6) 、2位北陸(107.7) 、3位南関東(107.6) 。※
・10年間で低下した地域は、北海道(88.2%→87.5%) 、四国(72.0%→71.8%) 。
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年87.5%) 、2位九州沖縄(76.2%) 、3位東海(75.8%) 。
注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



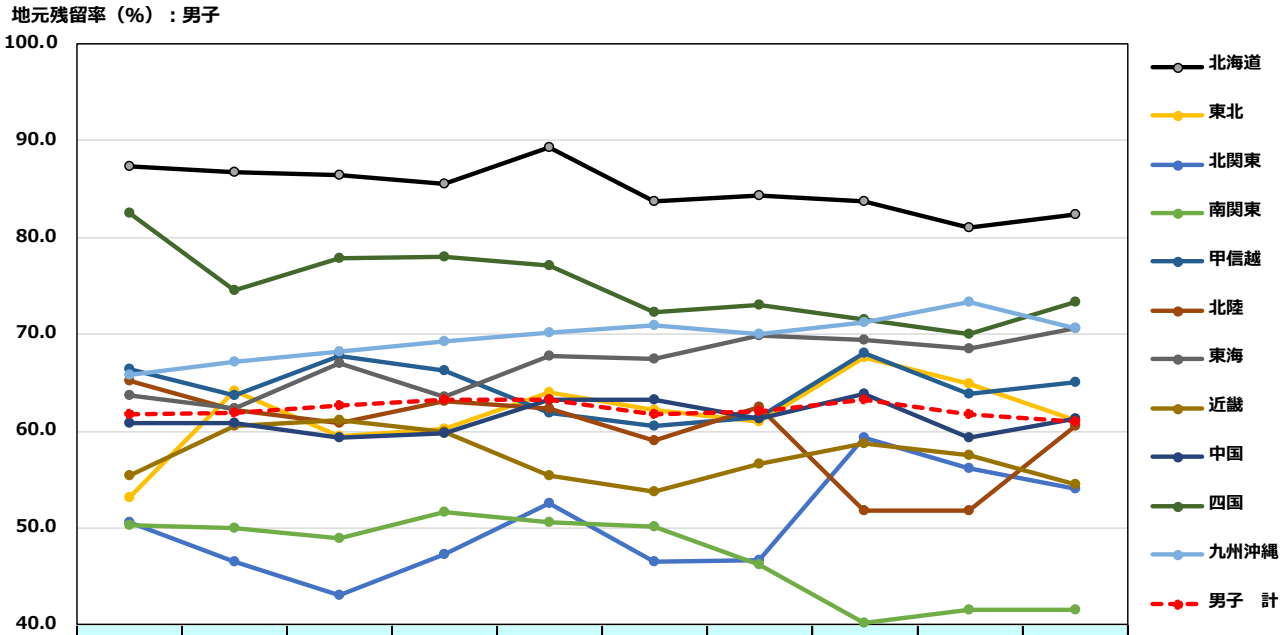
		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体	残留率	66.6	67.4	67.8	68.8	68.7	69.0	69.0	69.6	68.9	69.9
	指数	100.0	101.2	101.8	103.3	103.2	103.6	103.6	104.5	103.5	105.0
北海道	残留率	88.2	88.8	87.9	89.1	89.5	88.6	88.3	89.2	88.1	87.5
	指数	100.0	100.7	99.7	101.0	101.5	100.5	100.1	101.1	99.9	99.2
東北	残留率	63.6	65.3	64.1	66.3	65.4	66.5	66.4	67.1	67.4	67.6
	指数	100.0	102.7	100.8	104.2	102.8	104.6	104.4	105.5	106.0	106.3
北関東	残留率	58.2	58.6	58.6	60.8	61.6	61.6	63.8	64.2	65.0	66.1
	指数	100.0	100.7	100.7	104.5	105.8	105.8	109.6	110.3	111.7	113.6
南関東	残留率	58.2	59.9	59.9	60.6	61.2	61.6	61.4	62.0	61.2	62.6
	指数	100.0	102.9	102.9	104.1	105.2	105.8	105.5	106.5	105.2	107.6
甲信越	残留率	65.4	65.1	68.7	71.2	68.9	69.3	69.6	70.6	67.4	69.5
	指数	100.0	99.5	105.0	108.9	105.4	106.0	106.4	108.0	103.1	106.3
北陸	残留率	68.8	70.8	71.0	70.3	72.2	71.6	73.0	73.2	71.7	74.1
	指数	100.0	102.9	103.2	102.2	104.9	104.1	106.1	106.4	104.2	107.7
東海	残留率	73.9	74.0	75.0	75.5	75.6	74.3	74.2	74.9	74.5	75.8
	指数	100.0	100.1	101.5	102.2	102.3	100.5	100.4	101.4	100.8	102.6
近畿	残留率	64.6	66.7	66.3	67.1	66.6	67.1	67.1	67.8	65.8	67.4
	指数	100.0	103.3	102.6	103.9	103.1	103.9	103.9	105.0	101.9	104.3
中国	残留率	61.4	61.8	63.0	63.0	64.1	64.2	63.4	62.9	61.0	63.9
	指数	100.0	100.7	102.6	102.6	104.4	104.6	103.3	102.4	99.3	104.1
四国	残留率	72.0	69.8	72.2	71.5	70.3	72.0	71.5	73.8	72.1	71.8
	指数	100.0	96.9	100.3	99.3	97.6	100.0	99.3	102.5	100.1	99.7
九州沖縄	残留率	73.7	73.0	74.2	74.9	74.2	74.8	74.5	75.0	76.5	76.2
	指数	100.0	99.1	100.7	101.6	100.7	101.5	101.1	101.8	103.8	103.4

※データ元：2010年~2018年＝「学校基本調査 確報値」 / 2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査 速報値」より

地元残留率の推移(男子：短期大学入学者数：エリア別：2010～2019年)

■2010年61.7%→2019年61.0%(0.7ポイント低下)

・男子で2010年61.7%→2019年61.0%と0.7ポイント低下。
・上昇率が高いのは、1位東北(115.0) 、2位東海(110.8) 、3位九州沖縄(107.3) 。※
・上昇率が低いのは、1位南関東(82.5) 、2位四国(89.0) 、3位北海道(94.3) 。※
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年82.4%) 、2位四国(73.4%) 、3位東海 (70.6%) 。
注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
男子　計	残留率	61.7	61.9	62.6	63.2	63.3	61.7	62.0	63.2	61.8	61.0
	指数	100.0	100.3	101.5	102.4	102.6	100.0	100.5	102.4	100.2	98.9
北海道	残留率	87.4	86.8	86.5	85.5	89.3	83.7	84.3	83.7	81.1	82.4
	指数	100.0	99.3	99.0	97.8	102.2	95.8	96.5	95.8	92.8	94.3
東北	残留率	53.2	64.2	59.5	60.3	64.0	62.2	61.0	67.7	64.9	61.2
	指数	100.0	120.7	111.8	113.3	120.3	116.9	114.7	127.3	122.0	115.0
北関東	残留率	50.6	46.6	43.0	47.3	52.6	46.5	46.7	59.3	56.2	54.0
	指数	100.0	92.1	85.0	93.5	104.0	91.9	92.3	117.2	111.1	106.7
南関東	残留率	50.3	50.0	48.9	51.7	50.6	50.2	46.3	40.2	41.6	41.5
	指数	100.0	99.4	97.2	102.8	100.6	99.8	92.0	79.9	82.7	82.5
甲信越	残留率	66.4	63.7	67.8	66.3	61.9	60.6	61.4	68.1	63.8	65.1
	指数	100.0	95.9	102.1	99.8	93.2	91.3	92.5	102.6	96.1	98.0
北陸	残留率	65.2	62.2	60.9	63.1	62.3	59.1	62.5	51.8	51.8	60.5
	指数	100.0	95.4	93.4	96.8	95.6	90.6	95.9	79.4	79.4	92.8
東海	残留率	63.7	62.3	67.0	63.5	67.8	67.5	69.9	69.4	68.6	70.6
	指数	100.0	97.8	105.2	99.7	106.4	106.0	109.7	108.9	107.7	110.8
近畿	残留率	55.4	60.5	61.1	59.9	55.4	53.7	56.7	58.8	57.6	54.5
	指数	100.0	109.2	110.3	108.1	100.0	96.9	102.3	106.1	104.0	98.4
中国	残留率	60.9	60.9	59.4	59.8	63.2	63.2	61.3	63.9	59.4	61.3
	指数	100.0	100.0	97.5	98.2	103.8	103.8	100.7	104.9	97.5	100.7
四国	残留率	82.5	74.6	77.9	78.0	77.1	72.3	73.1	71.6	70.0	73.4
	指数	100.0	90.4	94.4	94.5	93.5	87.6	88.6	86.8	84.8	89.0
九州沖縄	残留率	65.8	67.2	68.2	69.3	70.2	70.9	70.1	71.3	73.3	70.6
	指数	100.0	102.1	103.6	105.3	106.7	107.8	106.5	108.4	111.4	107.3

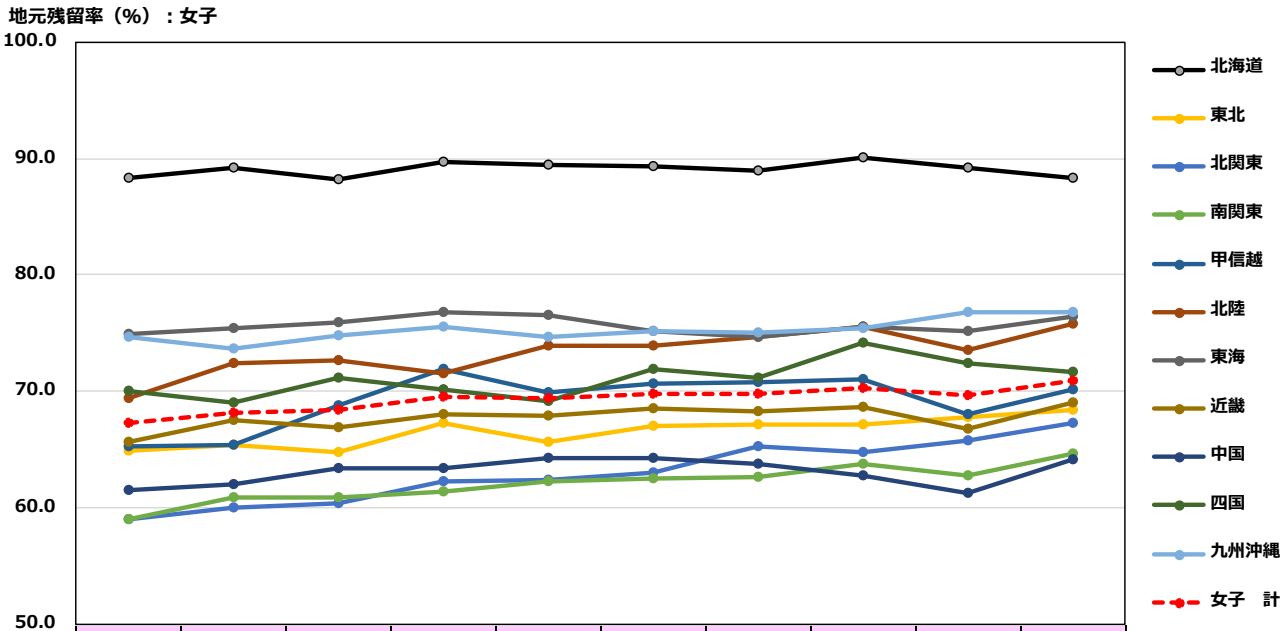
※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

リクルート進学総研

地元残留率の推移(女子：短期大学入学者数：エリア別：2010～2019年)

■2010年67.2%→2019年70.9%(3.7ポイント上昇)

・女子は2010年67.2%→2019年70.9%と3.7ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1位北関東(113.9) 、2位南関東(109.5) 、3位北陸(109.2) 。※
・残留率が高いのは、1位北海道(2019年88.3%) 、2位九州沖縄(76.8%) 、3位東海(76.4%) 。
注）※の( )内の数値は、2010年を100としたときの2019年の指数



		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
女子　計	残留率	67.2	68.1	68.4	69.5	69.4	69.8	69.8	70.3	69.6	70.9
	指数	100.0	101.3	101.8	103.4	103.3	103.9	103.9	104.6	103.6	105.5
北海道	残留率	88.3	89.2	88.2	89.7	89.5	89.4	88.9	90.1	89.2	88.3
	指数	100.0	101.0	99.9	101.6	101.4	101.2	100.7	102.0	101.0	100.0
東北	残留率	64.9	65.4	64.7	67.2	65.6	67.0	67.1	67.1	67.7	68.4
	指数	100.0	100.8	99.7	103.5	101.1	103.2	103.4	103.4	104.3	105.4
北関東	残留率	59.0	60.0	60.3	62.2	62.4	63.0	65.3	64.7	65.7	67.2
	指数	100.0	101.7	102.2	105.4	105.8	106.8	110.7	109.7	111.4	113.9
南関東	残留率	59.0	60.8	60.9	61.3	62.2	62.5	62.6	63.7	62.8	64.6
	指数	100.0	103.1	103.2	103.9	105.4	105.9	106.1	108.0	106.4	109.5
甲信越	残留率	65.2	65.4	68.8	71.9	69.9	70.7	70.8	71.0	68.0	70.2
	指数	100.0	100.3	105.5	110.3	107.2	108.4	108.6	108.9	104.3	107.7
北陸	残留率	69.4	72.4	72.6	71.5	73.9	73.9	74.6	75.6	73.5	75.8
	指数	100.0	104.3	104.6	103.0	106.5	106.5	107.5	108.9	105.9	109.2
東海	残留率	74.9	75.4	75.9	76.8	76.6	75.1	74.7	75.5	75.2	76.4
	指数	100.0	100.7	101.3	102.5	102.3	100.3	99.7	100.8	100.4	102.0
近畿	残留率	65.6	67.5	66.9	68.0	67.9	68.5	68.3	68.7	66.7	69.0
	指数	100.0	102.9	102.0	103.7	103.5	104.4	104.1	104.7	101.7	105.2
中国	残留率	61.5	62.0	63.4	63.4	64.2	64.3	63.7	62.8	61.2	64.1
	指数	100.0	100.8	103.1	103.1	104.4	104.6	103.6	102.1	99.5	104.2
四国	残留率	70.0	69.0	71.2	70.2	69.1	71.9	71.2	74.2	72.4	71.6
	指数	100.0	98.6	101.7	100.3	98.7	102.7	101.7	106.0	103.4	102.3
九州沖縄	残留率	74.6	73.6	74.8	75.5	74.6	75.2	75.0	75.4	76.8	76.8
	指数	100.0	98.7	100.3	101.2	100.0	100.8	100.5	101.1	102.9	102.9

※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

地元残留率(全体：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2019年)

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

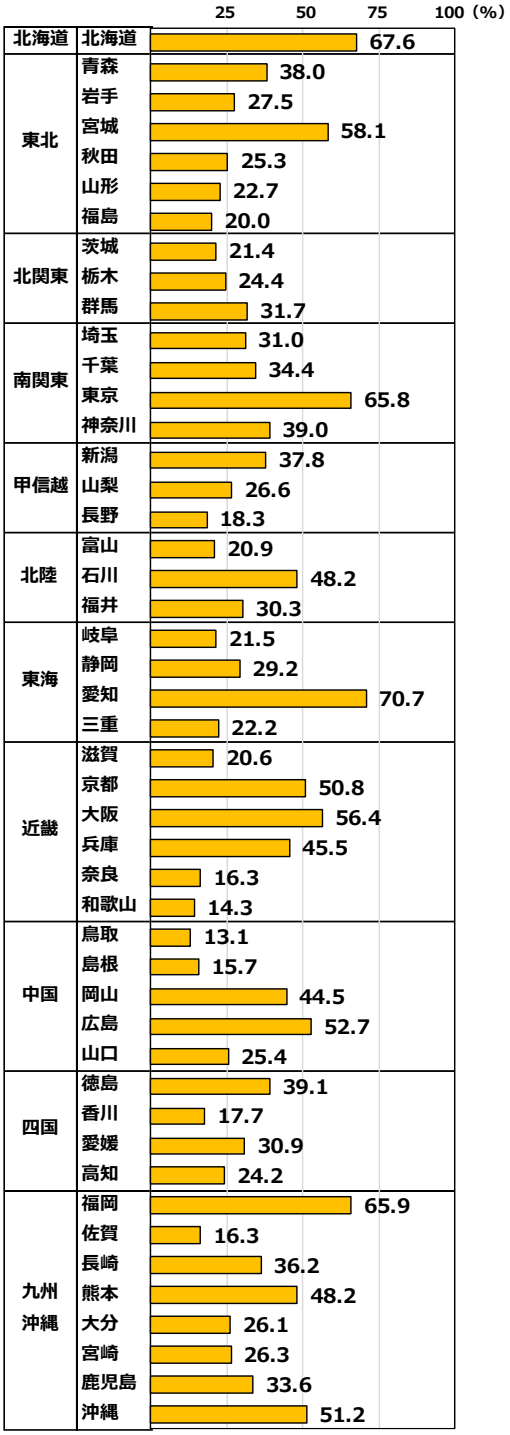
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位愛知(70.7%)、2位北海道(67.6%)、位福岡(65.9%)
残留率が低いのは、1位鳥取(13.1%)、2位和歌山(14.3%)、3位島根(15.7%)

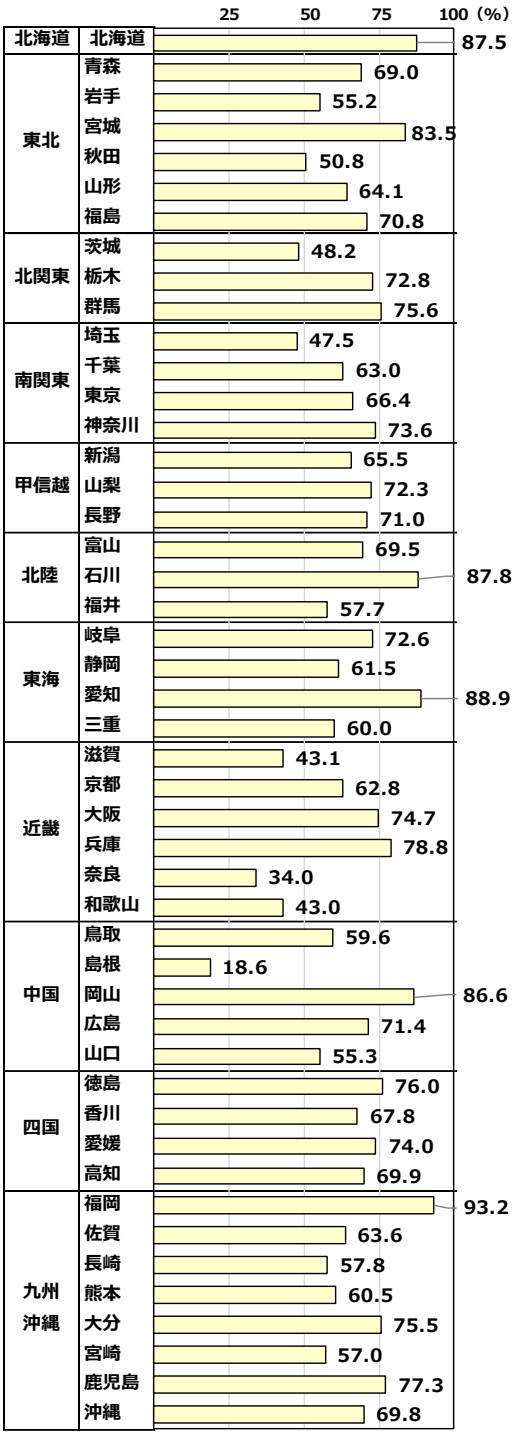
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(93.2%)、2位愛知(88.9%)、3位石川(87.8%)
残留率が低いのは、1位島根(18.6%)、2位奈良(34.0%)、3位和歌山(43.0%)

【大学進学者地元残留率：全体】



【短期大学地元残留率：全体】



※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

リクルート進学総研

地元残留率(男子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2019年)

■大学入学者の地元残留率1位は北海道、短期大学入学者の残留率1位は福岡

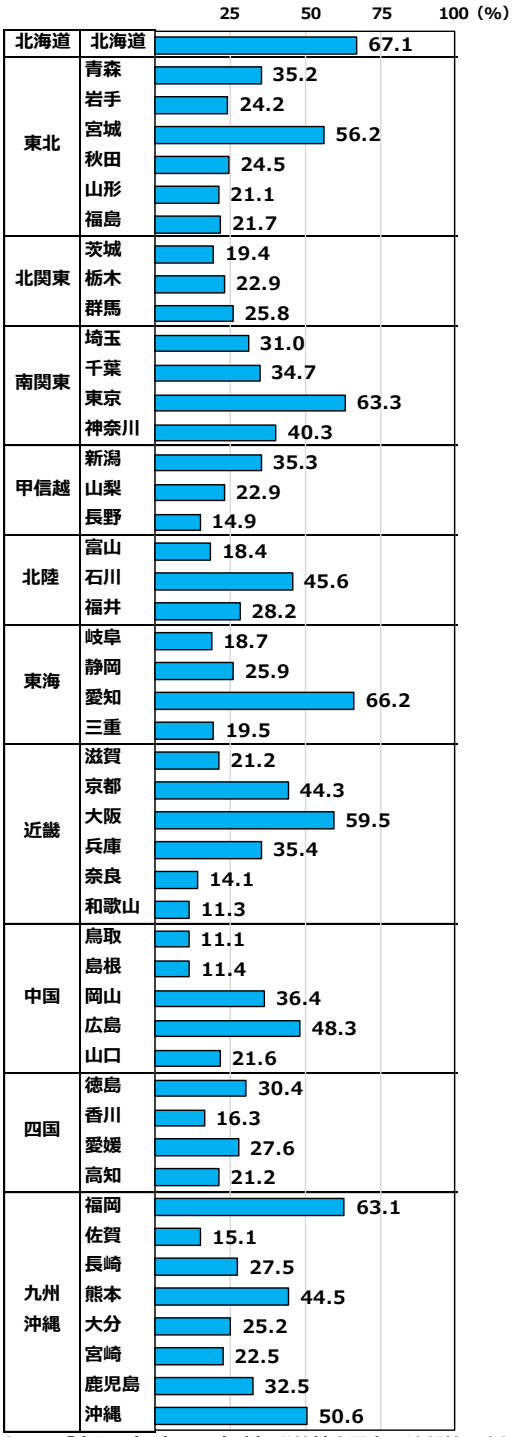
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位北海道(67.1%)、2位愛知(66.2%)、3位東京(63.3%)
残留率が低いのは、1位鳥取(11.1%)、2位和歌山(11.3%)、3位島根(11.4%)

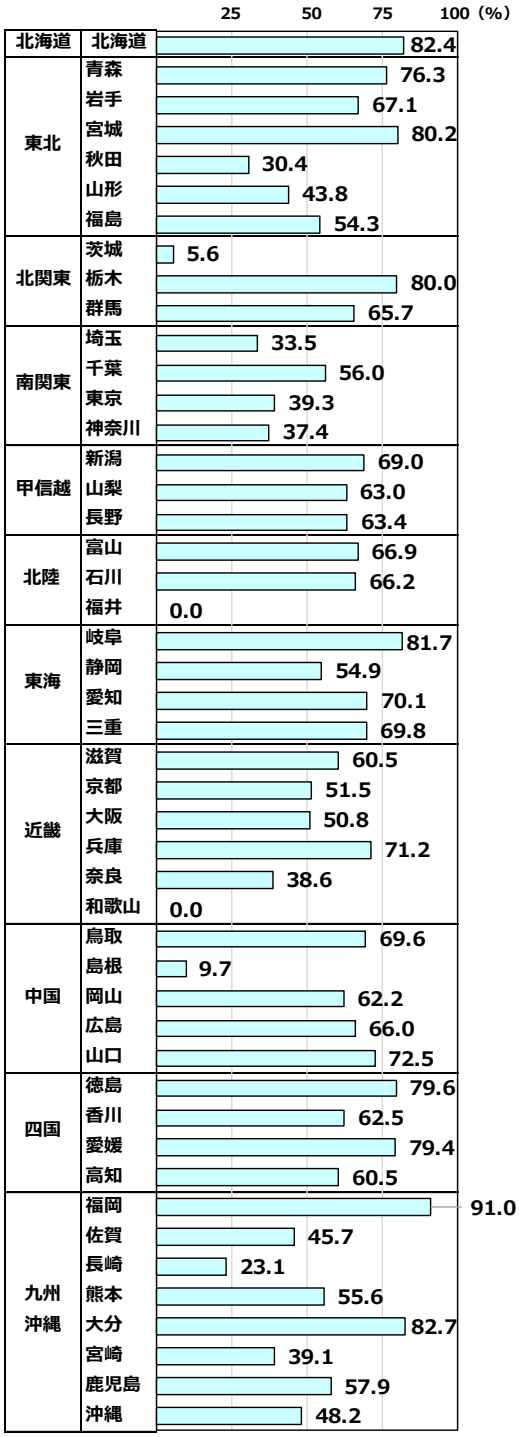
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(91.0%)、2位大分(82.7%)、3位北海道(82.4%)
残留率が低いのは、1位福井・和歌山(0.0%)、3位茨城(5.6%)

【大学進学者地元残留率：男子】



【短期大学地元残留率：男子】



※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

リクルート進学総研

地元残留率(女子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2019年)

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

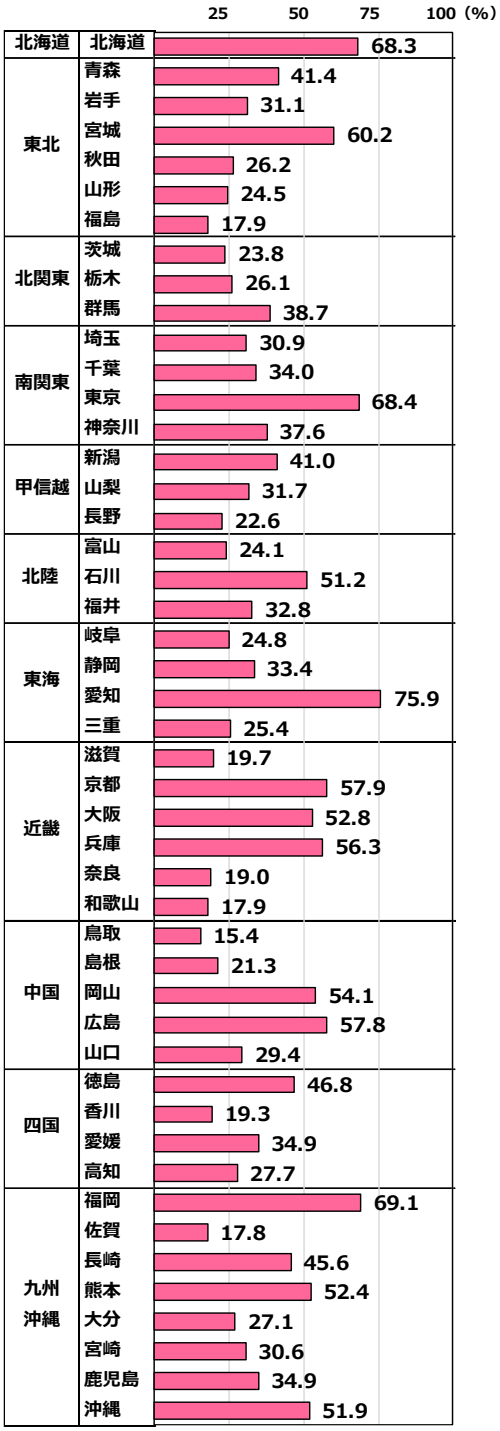
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位愛知(75.9%)、2位福岡(69.1%)、3位東京(68.4%)
残留率が低いのは、1位鳥取(15.4%)、2位佐賀(17.8%)、3位福島・和歌山(17.9%)

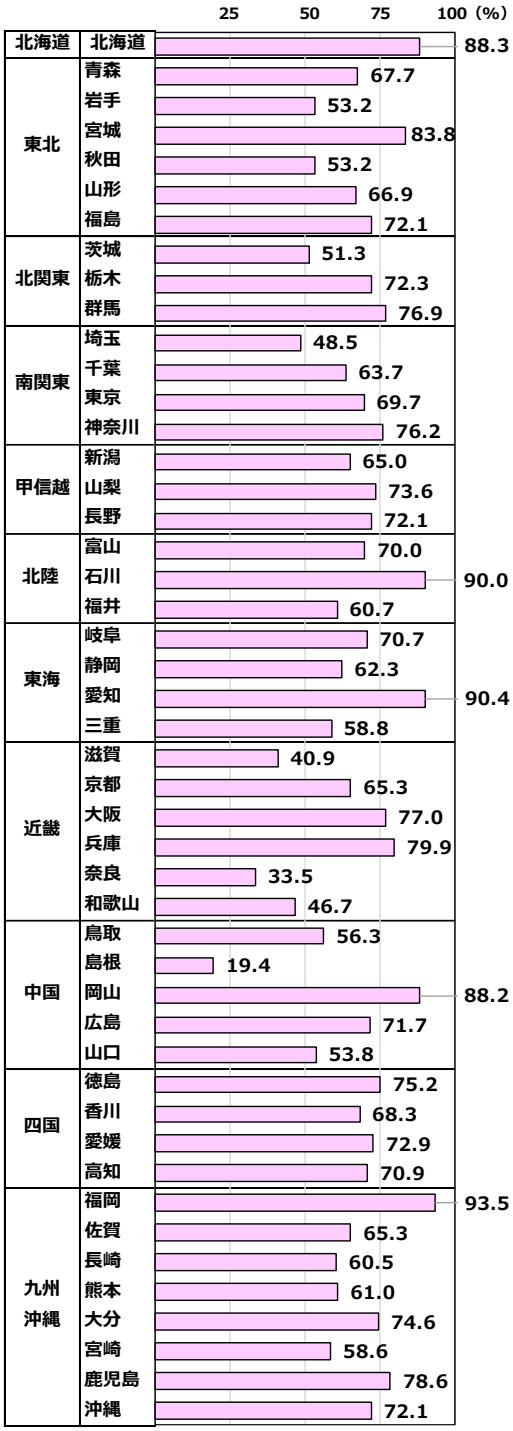
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位福岡(93.5%)、2位愛知(90.4%)、3位石川(90.0%)
残留率が低いのは、1位島根(19.4%)、2位奈良(33.5%)、3位滋賀(40.9%)

【大学進学者地元残留率：女子】



【短期大学地元残留率：女子】



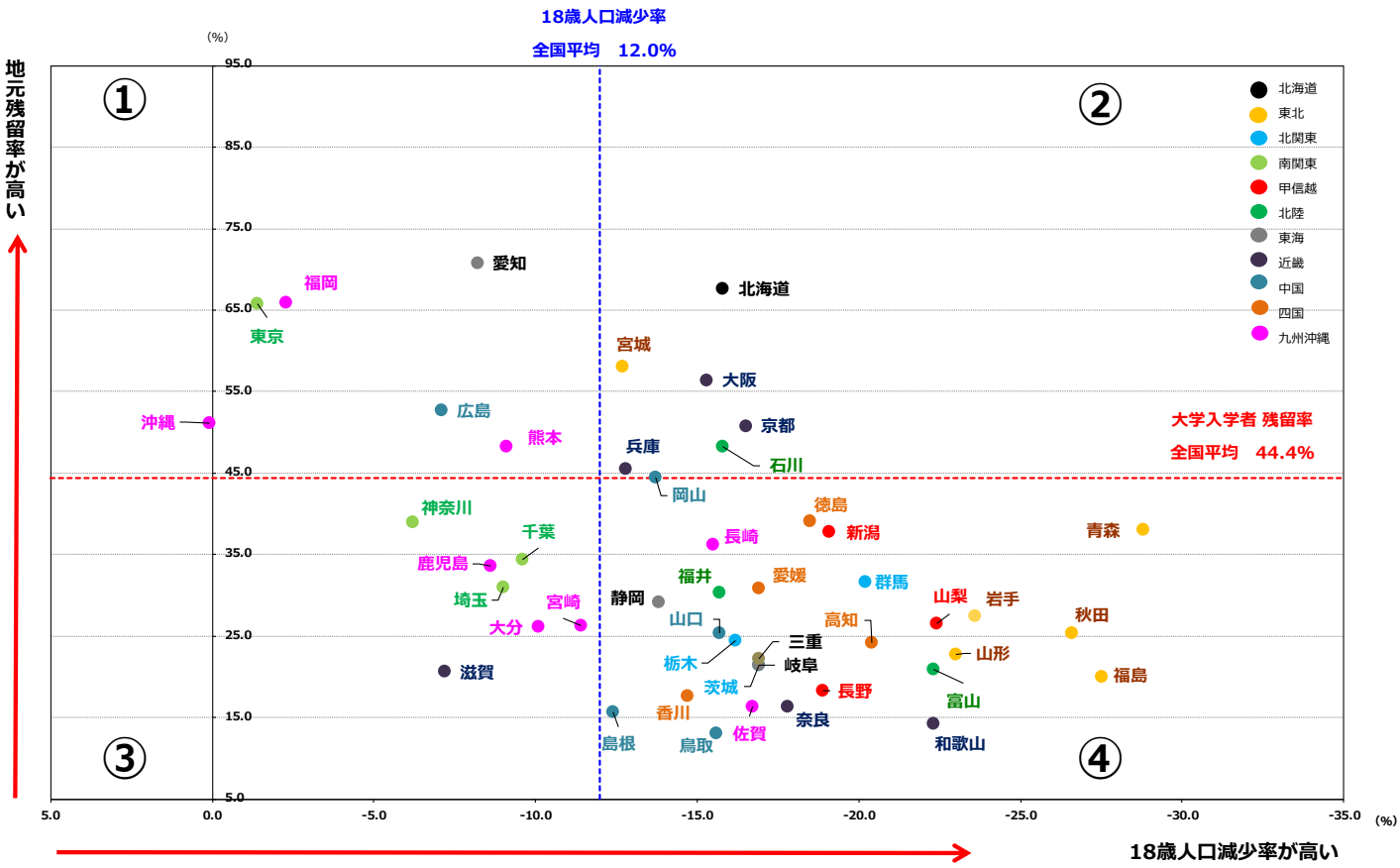
※データ元：「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

リクルート進学総研

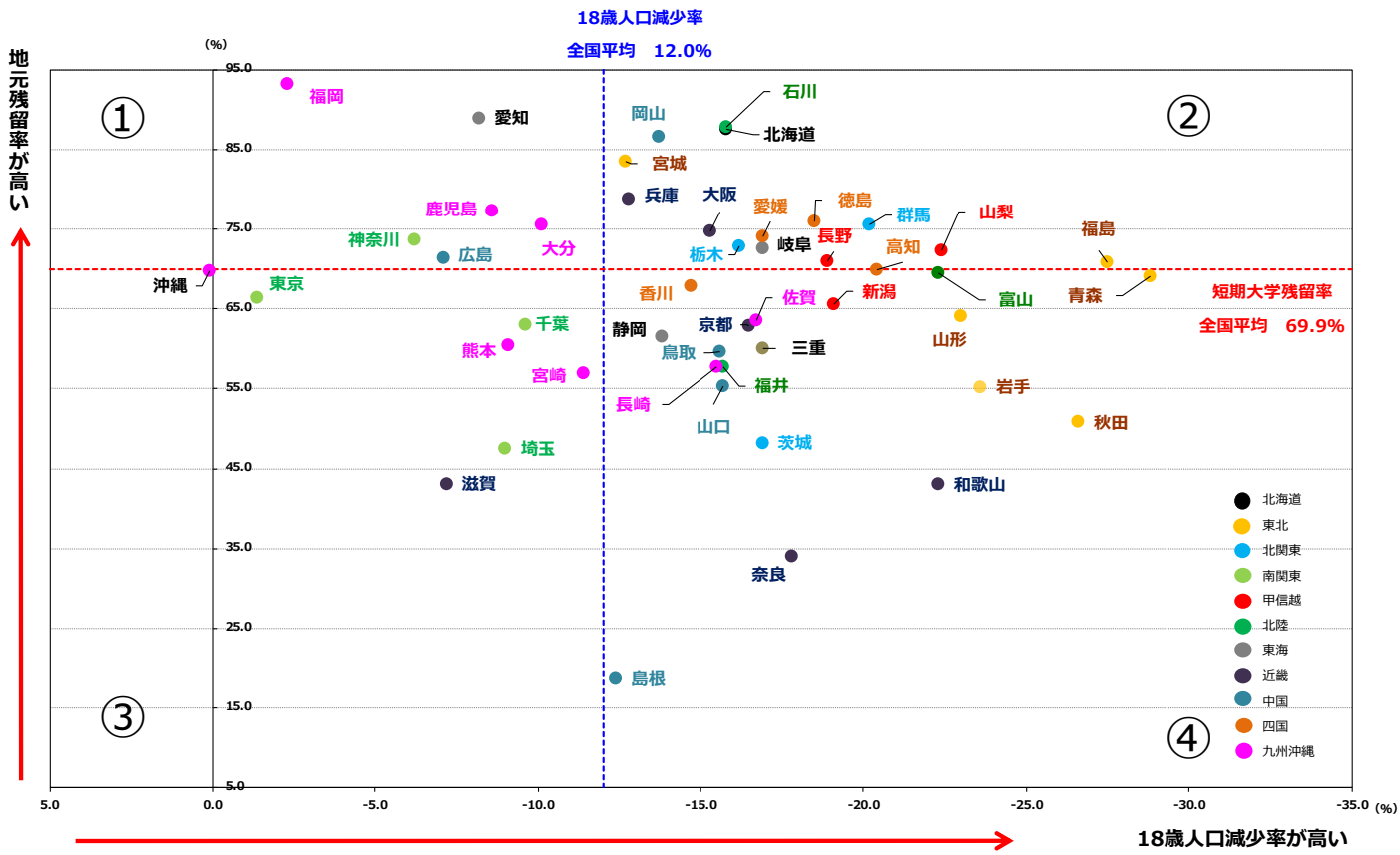
18歳人口減少率×地元残留率　(大学入学者：都道府県別：2019→2031年)

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下のとおりになる。
象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：東京 、愛知 、広島 、福岡 、熊本 、沖縄
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道 、宮城 、石川 、京都 、大阪 、兵庫 、岡山
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：埼玉 、千葉 、神奈川 、滋賀 、大分 、宮崎 、鹿児島
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



18歳人口減少率×地元残留率（短期大学入学者：都道府県別：2019→2031年）

■大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

・短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、
大学進学者と比較すると地元残留率の平均が25.5ポイント高い。
・全国平均でガイドラインを引き4象限に分けると、以下のとおりになる。
象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：神奈川 、愛知 、広島、福岡 、大分 、鹿児島 、沖縄
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道、宮城、福島、栃木、群馬、長野、山梨、岐阜、石川、大阪、兵庫、岡山
愛媛、高知、徳島
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：東京 、埼玉 、千葉 、滋賀 、熊本 、宮崎
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の府県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。